

型名 HMG-Q477MSE HMG-Q477MSF HMG-Q477MKF HMG-Q397MKF

このたびはサンポット製品をお買い求めいただき
ましてまことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書はお買い求めの販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油（JIS1号灯油）を使用してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

10124005 (DU)

も く じ		ページ
使用の前に	特に注意していただきたいこと	2
	使用するリモコンについて	9
	各部の名称	
	外観図	10
	本体構造図	12
	使用前の準備	14
音声リモコン	給湯運転	
	各部の名称とはたらき	18
	時刻の設定	20
	給湯運転	24
	eco機能	27
	定量お知らせ機能	28
	リモコンの設定	
	音声ガイド音量の設定	30
	操作音量の設定	32
	表示画面省エネモードの設定	34
その他の機能	表示画面明るさの設定	36
	リモコン設定の初期化	38
	チャイルドロック機能	40
	音声ガイド一覧	41
カンタンリモコン	給湯運転	
	各部の名称とはたらき	42
	時刻の設定	44
	給湯運転	46
	定量お知らせ機能	50
	リモコンの設定	
	表示部省エネモードの設定	52
	表示部明るさの設定	54
	操作音の設定	56
	その他の機能	
運転のしかた	凍結予防	58
	安全装置	62
	その他の装置	63
	使用上の注意	64
上手に 使ってね	日常の点検・手入れ	66
	定期点検	69
	法定点検	69
故障かな？	故障・異常の見分けかたと処置方法	70
	部品交換について	74
	仕様	75
	アフターサービス	79
	据付け	80
	保証書	巻末

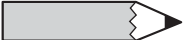
特に注意していただきたいこと

- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 図記号について次のような意味があります。

禁 止		ガソリン厳禁	注 意		高温注意	指 示		電源プラグを抜くこと
		接触禁止			感電注意			アースを接続すること
		分解禁止			一般的な警告・注意			必ず行うこと
		一般的な禁止						

 は参考になるページです。

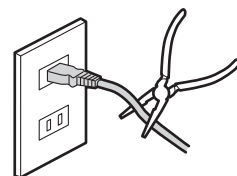
警告 (WARNING)

ガソリン厳禁



ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードを切断して延長しない



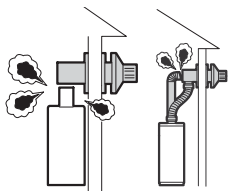
電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告 (WARNING)

給排気筒(管、ホース)はずれ危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

HMG-Q477MSF・HMG-Q477MKF
HMG-Q397MKF



給排気筒(管、ホース)がはずれたままで使用しないでください。
はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

給排気筒トップ閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

HMG-Q477MSF・HMG-Q477MKF
HMG-Q397MKF

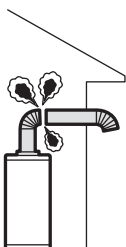


積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪やツララでふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

排気筒はずれ危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

HMG-Q477MSE

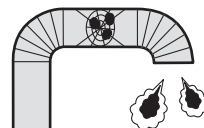


排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

排気筒閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

HMG-Q477MSE



排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

改造・分解禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)



絶対に改造や分解は行わないでください。
改造や分解は機器の安全性を損ないます。

高温注意



シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワーを使用中は使用者以外の方がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

可燃物禁止



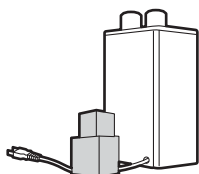
壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。(工事説明書参照)
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

ゴム製送油管の点検・交換をする



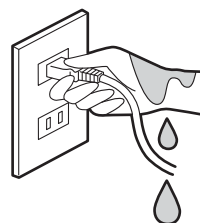
ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があるときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがない場合でも2～3年に一度は新しいものに交換されることをおすすめします。交換しないと灯油の漏れにつながり、火災の原因になります。

電源コードを傷めない



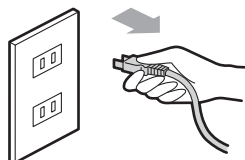
電源コードに無理な力を加えたり、ものを載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

濡れた手危険



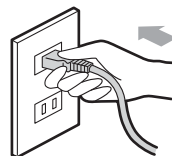
電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。

電源プラグを抜いて停止させない



電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因になります。
必ずリモコンの運転スイッチを押して「切」にして停止してください。

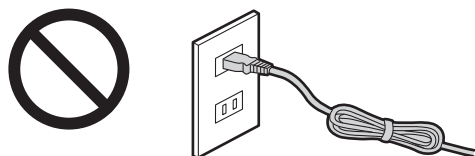
電源プラグは確実に差し込む



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

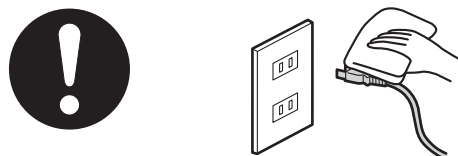
⚠ 注意 (CAUTION)

電源コードは束ねたまま使用しない



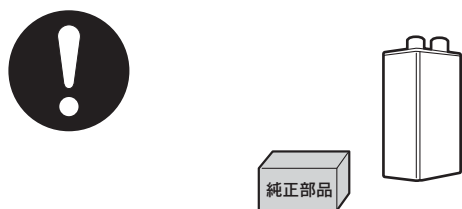
電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。火災や発熱の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



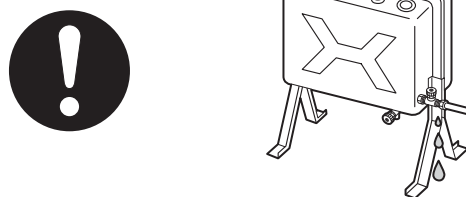
ときどきはリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてから電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

純正部品を使用する



事故防止のため必ず当社純正部品を使用してください。

油漏れがないことを確認する (火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。

必ずアースをする



この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

安全装置が作動したときは



安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

家庭用以外の使用禁止



この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。

異常・故障時使用禁止

(事故の原因)



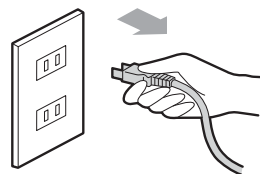
油漏れや臭い、ススの発生など異常や故障と思われるときは、使用しないで買い求めの販売店にご連絡ください。

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意



機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

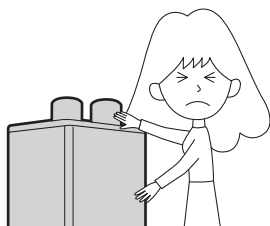
長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く



長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。火災や思わぬ事故の原因になります。

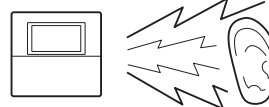
59・60 ページ

高温部接触禁止



燃焼中や消火直後は、高温部(機器・給排気筒・排気筒)に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない



音声リモコンのときは大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

冬期の入浴について

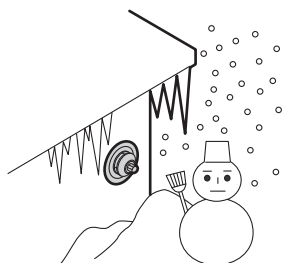


冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めるなどしてください。浴室を暖めるには、シャワーなどでお湯を流したり、お風呂にふたをしないでお湯はりをするなどの方法があります。

お願い(NOTICE)

凍結に注意

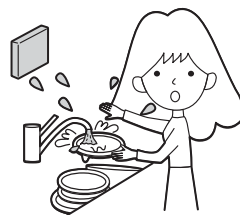
(故障の原因)



冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

58~61 ページ

リモコンに水をかけない



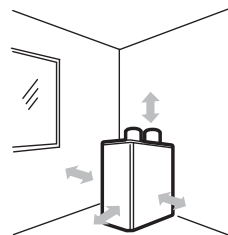
リモコンに水をかけないでください。故障の原因になります。

落雷のおそれがあるときの処置



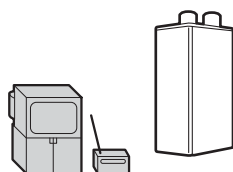
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかにリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込んでください。

サービススペースの確保



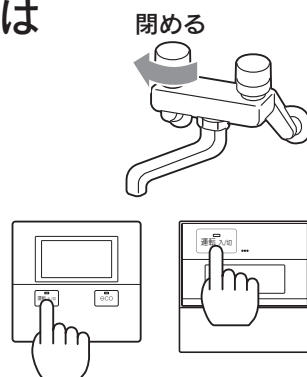
機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。前パネル側は必ず60cm以上あけてください。(工事説明書参照)

電気器具の近くに設置しない



テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。離して設置してください。

断水の場合は



給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。

特に注意していただきたいこと

お願い(NOTICE)

高地で使用するときはご相談を…
(燃焼不良の原因)



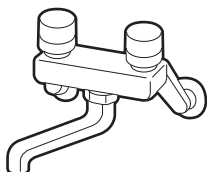
標高800～1,300mの高地で使用するときは
お買い求めの販売店、またはお近くのサン
ポット支店・営業所にご相談ください。
※標高1,300mを超える場所では使用できま
せん。

この機器は上水道用です

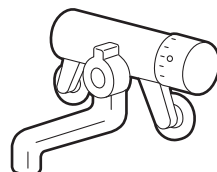


地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質
によっては故障することがあります。この場
合の修理は保証期間内でも有料になります。

混合水栓について



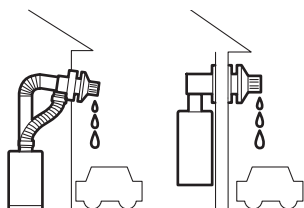
混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャ
ワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用し
てください。(出湯量が少なくなる可能性があ
ります。) 水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水
器を使用しないでください。



やけど防止のためサーモスタット付混合水栓
(通水抵抗の少ないもの)の使用をおすすめし
ます。リモコンの給湯温度は湯温安定のため、
混合水栓の設定温度より約10℃高めにして
使用してください。

**給排気筒トップの下にものを
置かない**

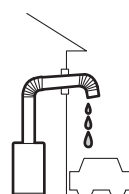
HMG-Q477MSF・HMG-Q477MKF
HMG-Q397MKF



給排気筒トップから排ガス中の水分が結露し
て滴下することがあります。
下にもものなどを置かないでください。

**エルボトップの下にものを
置かない**

HMG-Q477MSE



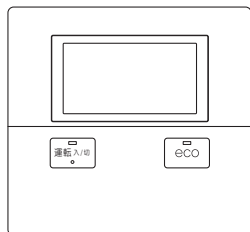
エルボトップから排ガス中の水分が結露して
滴下することがあります。
下にもものなどを置かないでください。

使用するリモコンについて

- この機器で使えるリモコンは、下記の2種類です。
- ご使用になるリモコンによって、それぞれのページをご覧ください。

音声リモコン (セット名 : SRC-477MVC)

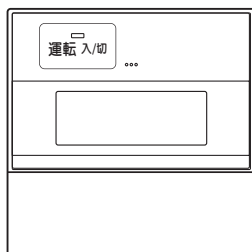
台所リモコン CMR-2707V



18～41 ページ

カンタンリモコン (セット名 : SRC-477M)

台所リモコン CMR-2903

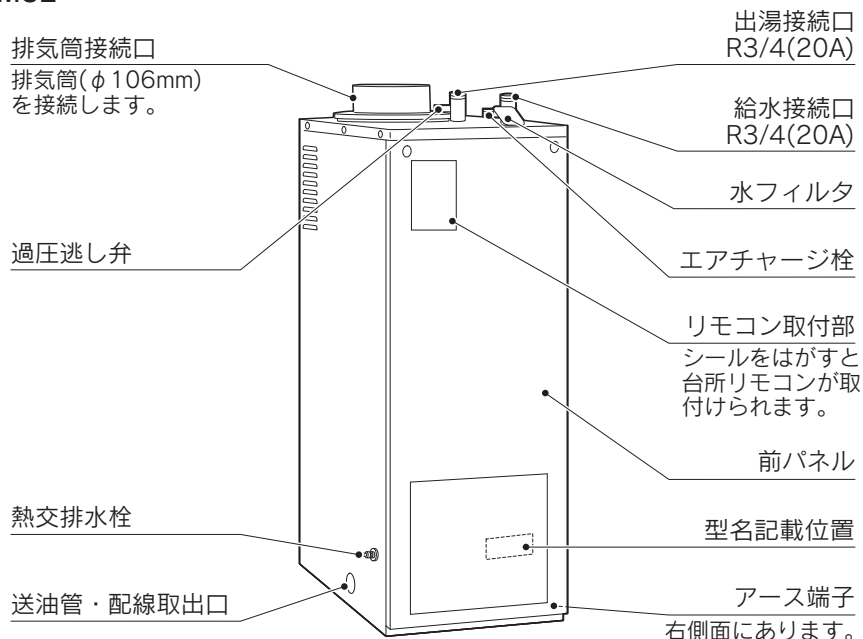


42～57 ページ

各部の名称

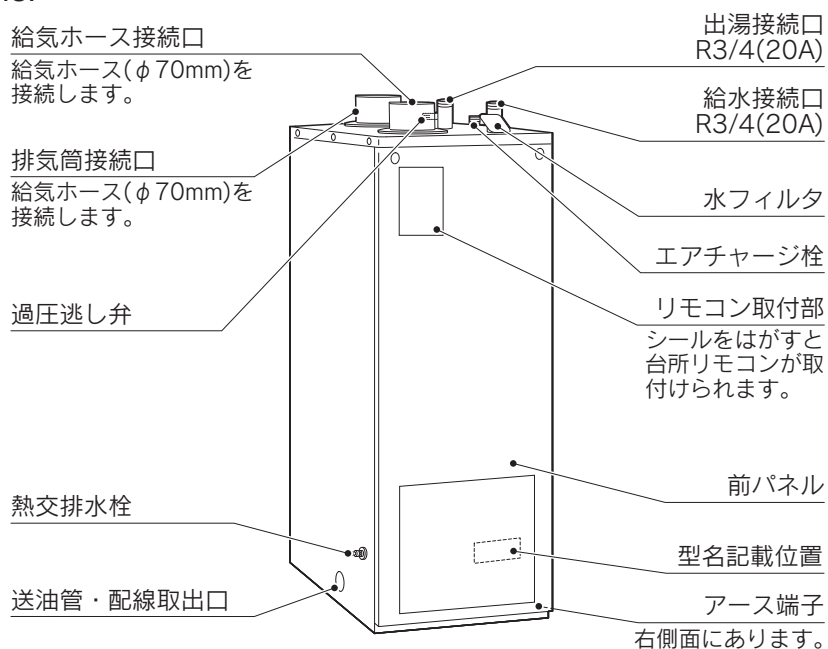
外観図

●HMG-Q477MSE



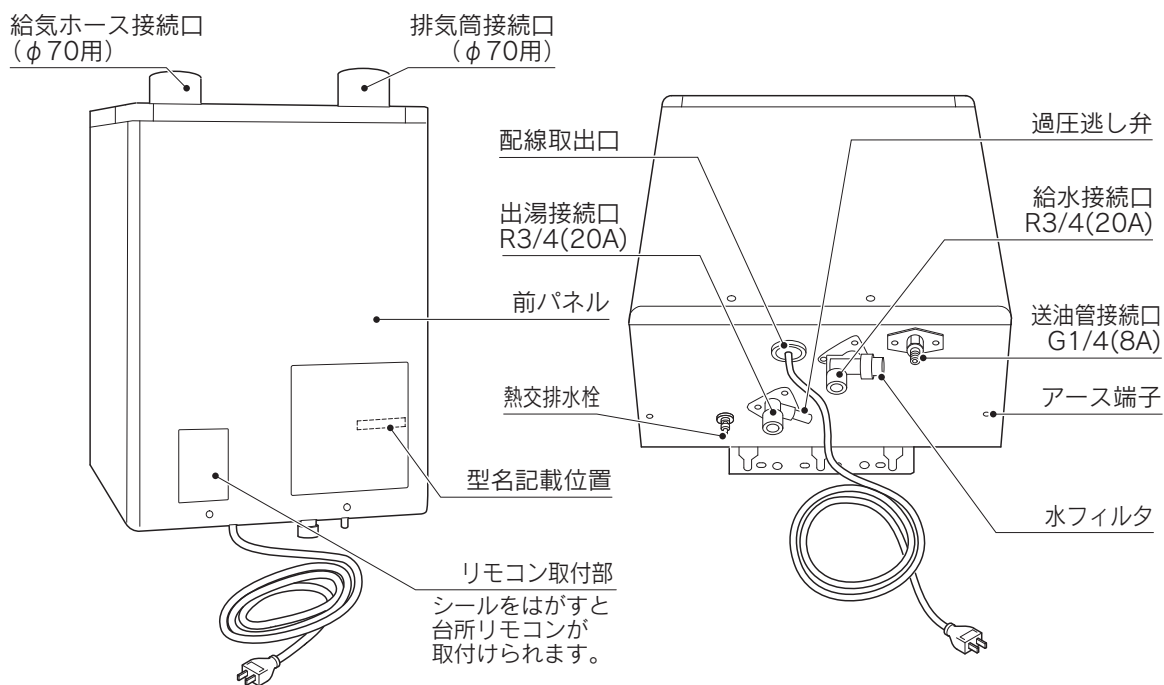
※送油管・配線取出口は左右両側にあります。

●HMG-Q477MSF



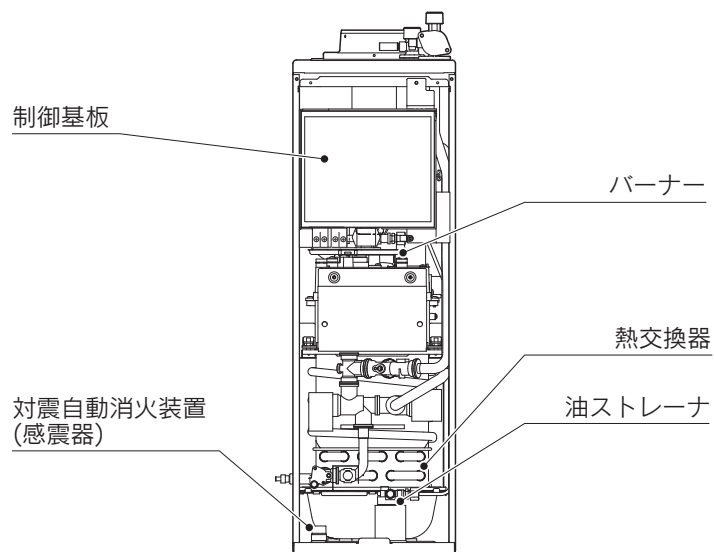
※送油管・配線取出口は左右両側にあります。

● HMG-Q477MKF ・ HMG-Q397MKF

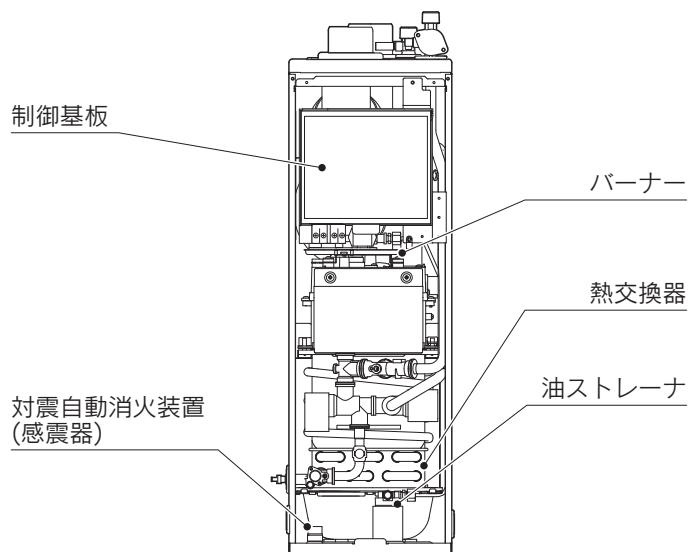


本体構造図

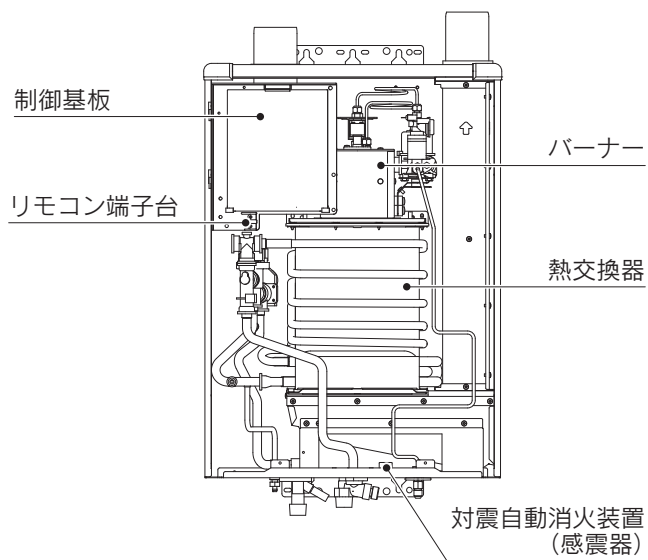
●HMG-Q477MSE



●HMG-Q477MSF



● HMG-Q477MKF ・ HMG-Q397MKF



使用前の準備

燃料

警告

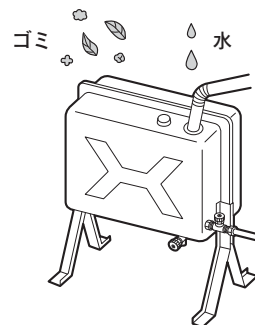
●ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

●燃料は必ず灯油 (JIS1号灯油) を使用してください。

給油

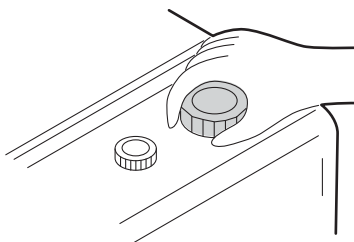
●給油は必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。

1 給油の際の注意

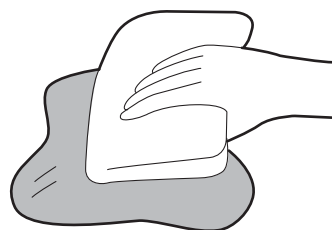


給油の際に水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
水やゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に閉める



3 こぼれた灯油はふきとる



4 燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。



注意

- 給油せずに何度も空運転(電磁ポンプ内に灯油がない状態での運転)をすると、電磁ポンプの寿命が短くなり、性能低下の原因になります。性能低下すると、熱交換器内に油がたまることで燃焼不良の原因になり、排気部から発煙し建物の壁などを汚すおそれがあります。

燃料切れをしたときは警報を表示してお知らせします。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。(リセットすることにより、電磁ポンプを空運転し送油経路の空気抜きを行います。)

2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。

約8回リセットを繰り返すと再点火防止機能がはたらき、リモコンでのリセットができなくなります。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから、再度押して「入」にします。

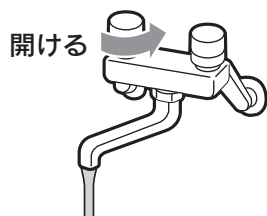


お知らせ

- 燃料切れをしたときは、送油経路の空気が抜けるまで振動音が出たり、点火せずに警報になったりすることがありますが故障ではありません。

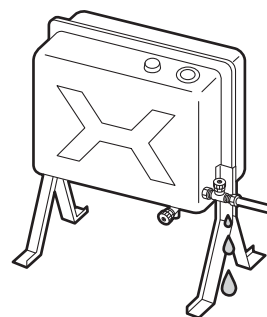
点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認



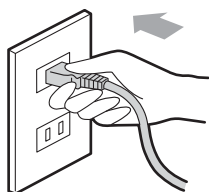
1. 給水元栓と給湯栓を開け、水が出ることを確認してください。
2. 機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

2 送油経路の点検



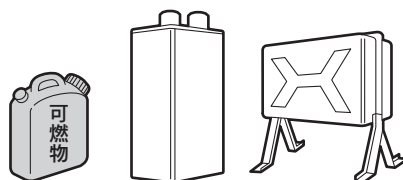
油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

3 電源プラグの確認



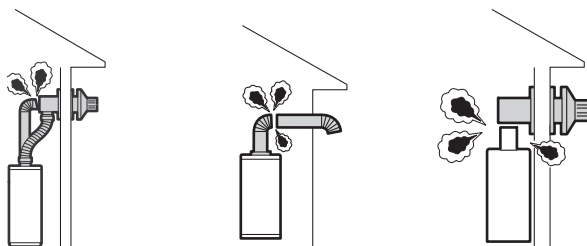
電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 周囲の点検



機器本体・排気筒・給排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

5 給排気筒・排気筒の確認



給排気筒・排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと、またススがついていないことを確認してください。

緩んでいたたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所に点検を依頼してください。

各部の名称とはたらき

●この機器はリモコンによって操作方法などが異なります。

台所リモコン (別売部品・CMR-2707V…音声リモコン) 〔セット名：SRC-477MVC〕

① 運転スイッチ (運転ランプ)

運転・停止・リセットするときに押します。
運転スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

② ecoスイッチ (ecoランプ)

eco 運転するときに押します。
eco スイッチが「入」のときに点灯します。

27 ページ

③ スピーカー(側面)

ここから音声や音が出ます。

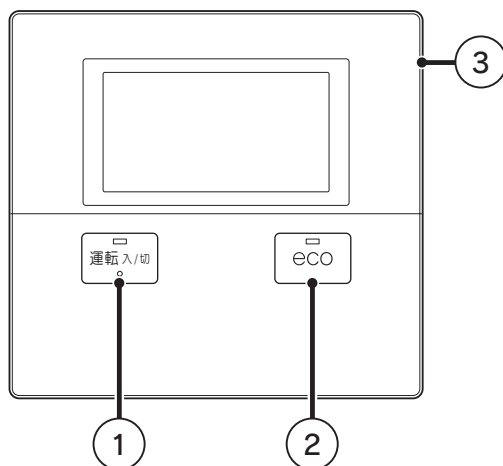
④ 給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
「優先」が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。

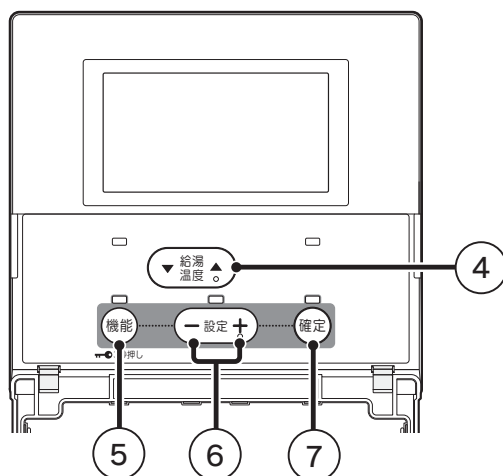
- ▲…温度を高くする
(あつくなる)
- ▼…温度を低くする
(ぬるくなる)

温度調節範囲

…約 32～75℃
32℃・35℃・37～50℃
(1℃ごと)・55～75℃
(5℃ごと)に設定できます。



ふたを開いた状態です。



音声ガイドの種類は41ページを参照してください。

⑤ 機能スイッチ

現在時刻・お湯はり量などを設定するときに押します。
約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定/解除ができます。

20～41 ページ

⑥ 設定スイッチ

選択した機能の設定を変更するときに押します。

- +…時間や数値を増やしたり、項目を進めたりする
- …時間や数値を減らしたり、項目を戻したりする

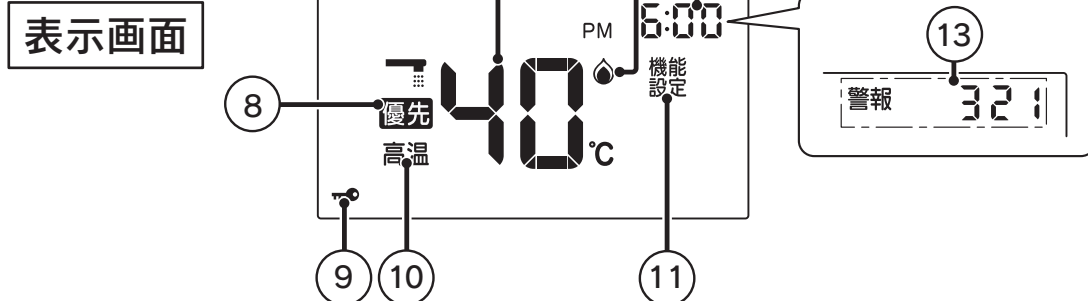
20～39 ページ

⑦ 確定スイッチ

機能設定の内容を確定するときに押します。

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示画面を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

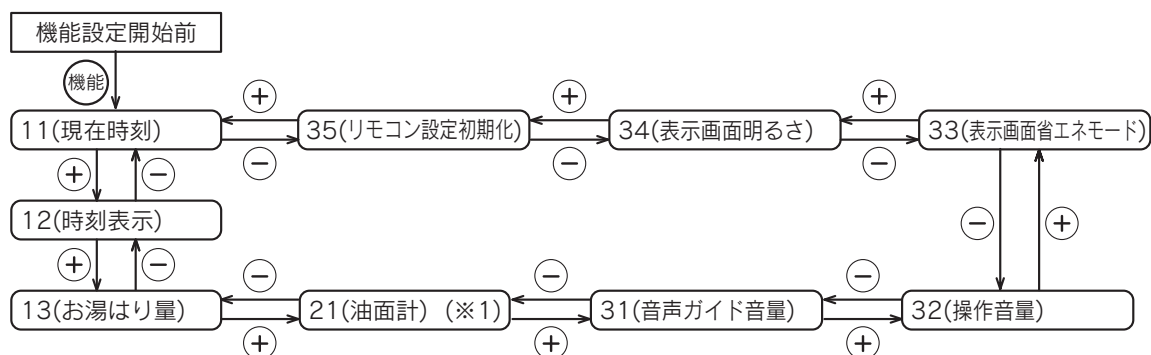


⑧ 優先表示	⑪ 機能設定表示	⑭ 燃焼表示
この表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。 26 ページ	機能設定中に表示します。	点灯…バーナーが燃焼しているときに表示します。 点滅…安全装置が作動し燃焼が(警報)停止しています。
⑨ チャイルドロック表示	⑫ 現在時刻表示	⑮ 給湯温度表示
チャイルドロック状態のときに表示します。	現在時刻を表示します。	給湯温度を表示します。
⑩ 高温表示	⑬ エラーコード表示	
給湯温度を55℃以上に設定したときに表示します。	機器に何らかの異常があるときに表示します。 72・73 ページ	

表示は説明のためのもので実際とは異なります。

機能設定について

- 機能スイッチ・設定スイッチ・確定スイッチを操作することにより、下記の機能設定ができます。
(機能設定の内容を数字で表示します。)



※1…設定を変更しないでください。(設定「oFF」)

設定を変更すると、エラーコード「480」が表示されます。

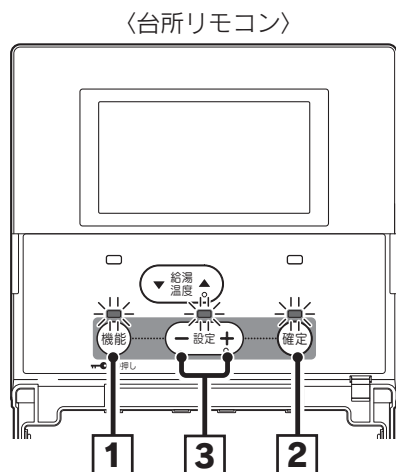
その場合は、設定スイッチを押して機能設定番号を「21」にし、確定スイッチを押して確定します。次に設定スイッチを押して「oFF」にし、確定スイッチを押してください。

時刻の設定

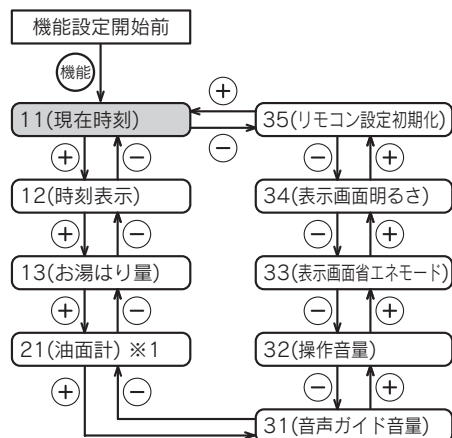
18～41ページは音声リモコンの説明です。

現在時刻の設定

●台所リモコンで設定します。



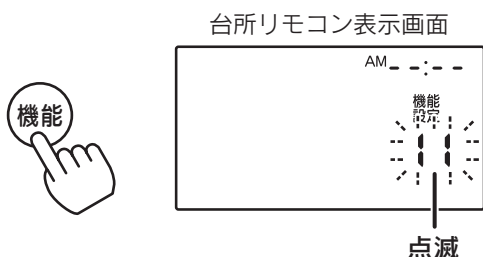
機能設定の順序



※1…設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エラーコード「480」が表示されます。

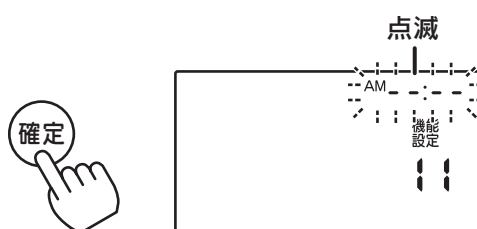
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す



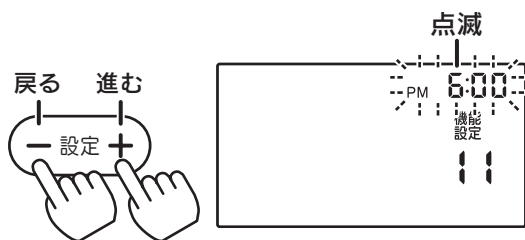
音声で「現在時刻を設定します」とお知らせします。

3 確定スイッチ[2]を押す



現在の設定が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

4 設定スイッチ[3]を押して 現在時刻を設定する



1回押すと1分単位、押し続けると10分単位で変わります。

5 確定スイッチ[2]を押す



設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[3]で他の機能を設定できます。

6 ふたを閉じる

通常が表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常が表示に戻ります。

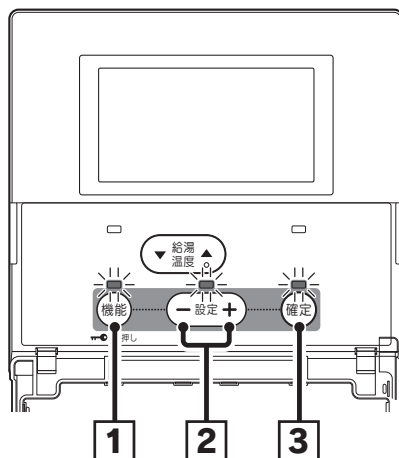
お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常が表示に戻ります。
- 停電復帰後は、現在時刻が合っていることを確認してください。

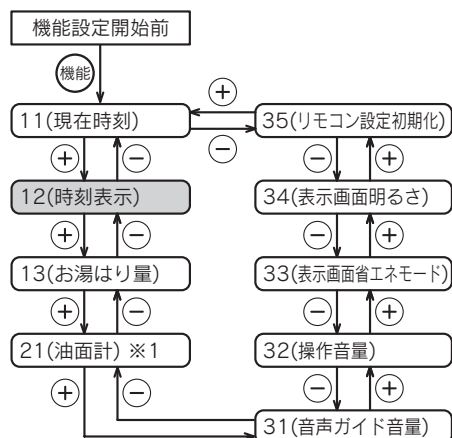
時刻表示の設定

- 時計の時刻表示を「12H」(AM・PM表示)または「24H」(24時間表示)に設定できます。
- 現在時刻は時刻表示の設定に従います。
- 台所リモコンで設定します。

〈台所リモコン〉



機能設定の順序



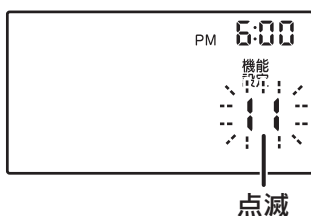
※1…設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エラーコード「480」が表示されます。

1 ふたを開く

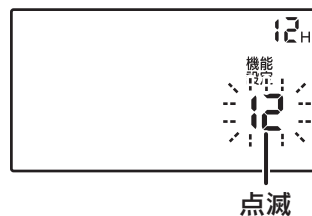
2 機能スイッチ[1]を押す



台所リモコン表示画面

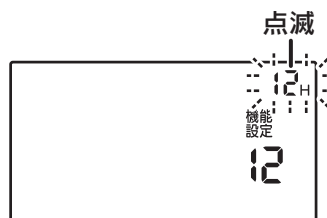


3 設定スイッチ[2]を押して「12」(時刻表示)を選択する



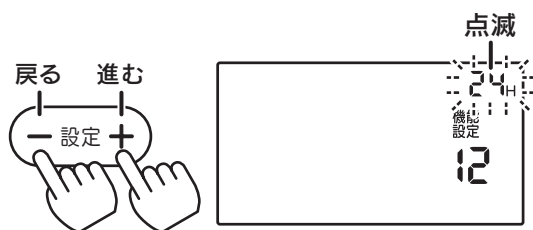
音声で「時刻表示を設定します」とお知らせします。

4 確定スイッチ[3]を押す



現在の設定が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

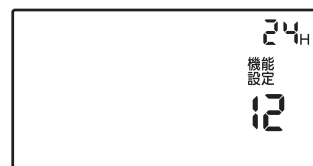
5 設定スイッチ[2]を押して「12H」「24H」を選択する



設定スイッチを押すごとに

「12H ↔ 24H」
(AM・PM表示) (24時間表示)
を交互に繰り返します。

6 確定スイッチ[3]を押す



設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定できます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。

約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「12H」(AM・PM表示)に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

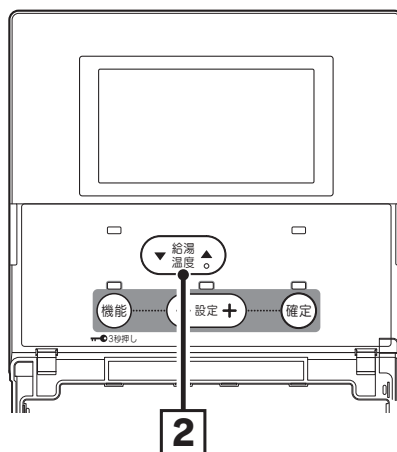
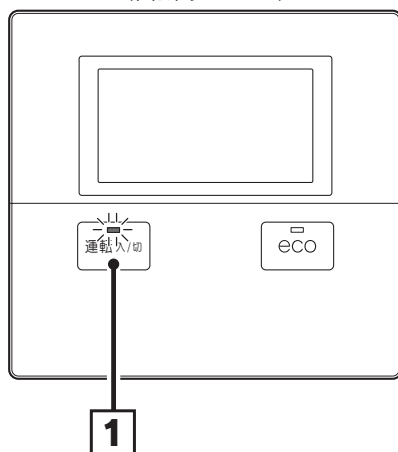
給湯運転 (お湯を出します)

給湯

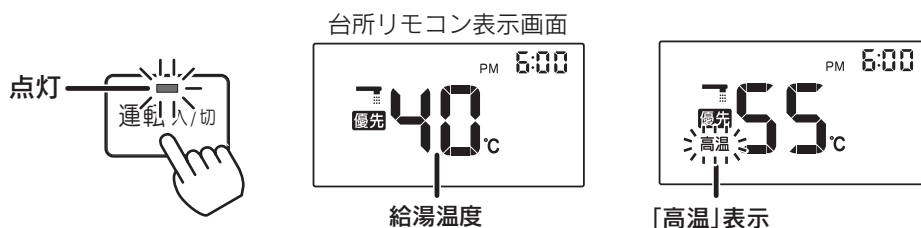
⚠ 注意

- シャワーを使用しているときは給湯温度の変更をしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- シャワーを使用するときはリモコンの給湯温度を確認し、いきなり体や頭にかげずに必ず手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 給湯温度をよく確認してから使用してください。55℃以上の高温で使用后、再度使用するときは特に注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

〈台所リモコン〉



1 運転スイッチ¹を押して「入」にする

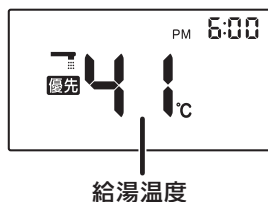
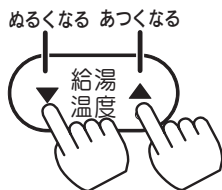


運転ランプ、「優先」が点灯します。

給湯温度が55℃以上に設定されているときは、「高温」が点灯し音声で「あついお湯が出ます」とお知らせ、またはブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

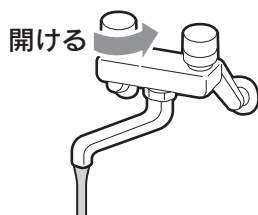
2 給湯温度調節スイッチ²を押す

(一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)



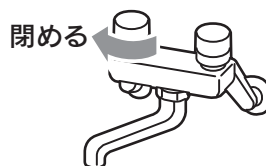
給湯温度は約32～75℃〔32℃・35℃・37～50℃(1℃ごと)・55～75℃(5℃ごと)〕の範囲で調節できます。給湯温度が55℃以上に設定されているときは「高温」が点灯し、音声で「給湯温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます」、50℃以下に設定されているときは「給湯温度が〇〇℃に変更されました」とお知らせします。

3 給湯栓を開ける



自動的にバーナーが点火し、燃焼表示が点灯してお湯が出ます。お湯にならないときは、給湯栓をもう少し開けてください。

4 給湯栓を閉める



自動的にバーナーが消火し、燃焼表示が消灯します。次回お使いになるときはそのまま給湯栓を開けるだけで使用できます。長時間使用しないときはリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。リモコンの運転ランプが消灯します。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンで給湯温度を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。リモコンの給湯温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より約10℃高めにして使用してください。
- サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
- じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最小の流量は、毎分約2.5リットルです。

リモコンの優先について

⚠ 注意

- シャワーを使用しているときは給湯温度の変更をしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- 台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯を使用中に他の人が給湯温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどをしたり冷水による思わぬ事故につながったりすることがあります。このような事故を防止するため、「優先」が点灯しているリモコン以外は給湯温度が変更できないようになっています。

給湯量と給湯温度の早見表

- 給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。
機器本体の最大給湯量は毎分約32リットル(HMG-Q477MKF・HMG-Q397MKFは約20リットル)、最小給湯量は毎分約2.5リットルです。
- 給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。

HMG-Q397MKF

給湯量 (L/分)			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春期・秋期)	25℃ (夏期)
37℃	約17	約20	約20
45℃	約14	約18	約20
55℃	約11	約14	約18
65℃	約9	約11	約14

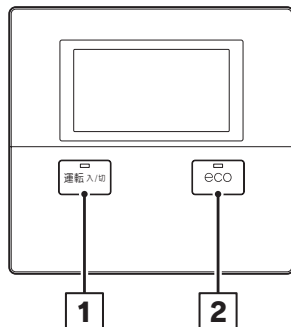
HMG-Q477MSE・HMG-Q477MSF HMG-Q477MKF

給湯量 (L/分)			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春期・秋期)	25℃ (夏期)
37℃	約20	約30 (20)	約32 (20)
45℃	約16	約22 (20)	
55℃	約13	約16	約22 (20)
65℃	約11	約13	約16

※()内はHMG-Q477MKFです。

- 季節に応じて給湯能力(燃料消費量や出湯量)を自動的におさえ、経済的な運転を行います。
- eco機能で灯油代や水道代が節約できます。

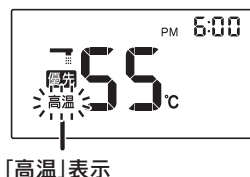
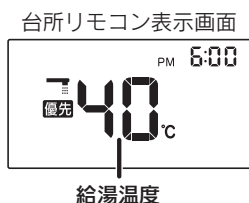
台所リモコン



●給湯能力のめやす

季節	給湯能力
冬	約90%
春・秋	約70%
夏	約50%

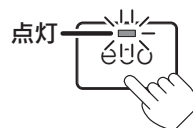
1 運転スイッチ①を押して「入」にする



運転ランプ、「優先」が点灯します。

給湯温度が55℃以上に設定されているときは、すべてのリモコンで「高温」が点灯し音声で「あついい湯が出ます」とお知らせ、またはブザーが「ビピッ」と鳴ってお知らせします。

2 ecoスイッチ②を押す



ecoランプが点灯します。

給湯栓を開けると自動的に最適なeco運転を行います。

eco運転の解除



ecoスイッチ②を押します。ecoランプが消灯します。

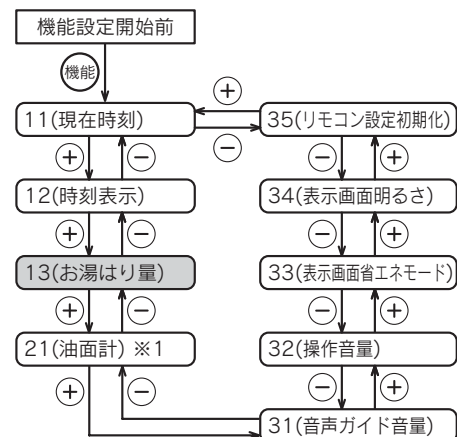
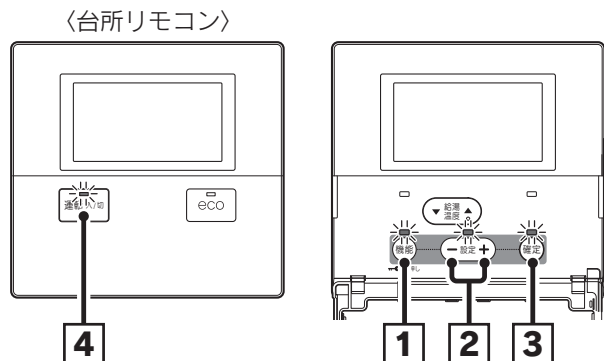
お知らせ

- eco機能が作動している間はお湯の流量が少なくなります。
- 運転スイッチを押して「切」にし、再度押して「入」にしてもeco機能の設定は有効です。

定量お知らせ機能

- 設定量のお湯が出ると台所リモコンから音声またはブザーでお知らせします。
- 浴そうにお湯を入れるときに使用すると便利です。
- 台所リモコンで設定します。

機能設定の順序

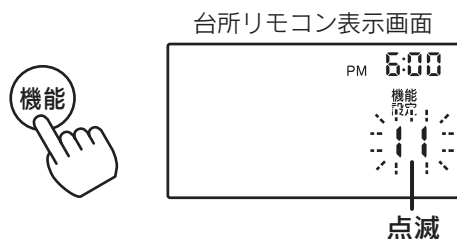


お湯はり量の設定方法

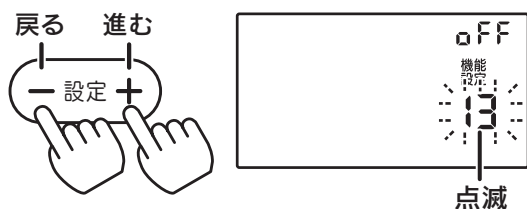
※1…設定を変更しないでください。設定を変更すると、エラーコード「480」が表示されます。

1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

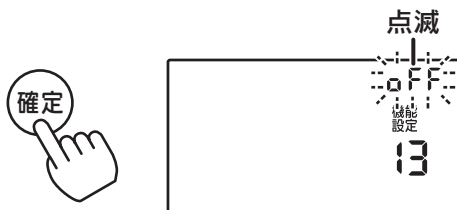


3 設定スイッチ[2]を押して「13」(お湯はり量)を選択する



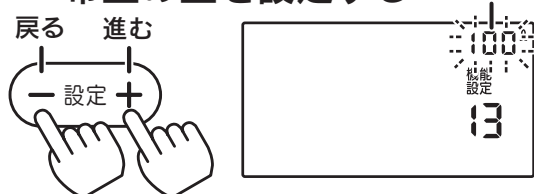
音声で「お湯はり量を設定します」とお知らせします。

4 確定スイッチ[3]を押す



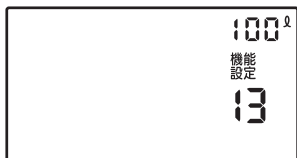
現在の設定が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

5 設定スイッチ[2]を押して希望の量を設定する



お湯はり量は約100～500リットルの範囲を10リットル単位で設定できます。使用しないときは「OFF」に設定してください。

6 確定スイッチ^③を押す



設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

続けて機能スイッチ^①を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ^②で他の機能を設定できます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。

約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「OFF」(定量お知らせ機能「切」)に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

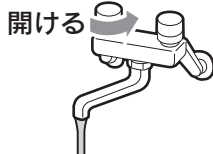
使用方法

⚠ 注意

- リモコンの給湯温度でお湯はりをしますので、給湯温度を確認してください。給湯温度が高いとやけどのおそれがあります。
- 入浴するときは必ず手でお湯の温度を確かめてください。

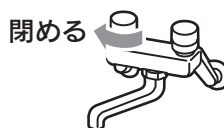
- 運転スイッチ^④が「切」のときは押して「入」にしてください。

1 給湯栓を開ける



設定した量のお湯が出ると、台所リモコンから音声で「設定量になりました お風呂のじゃ口を閉めてください」とお知らせ、またはブザーでお知らせします。

2 給湯栓を閉める



音声またはブザーが止まります。

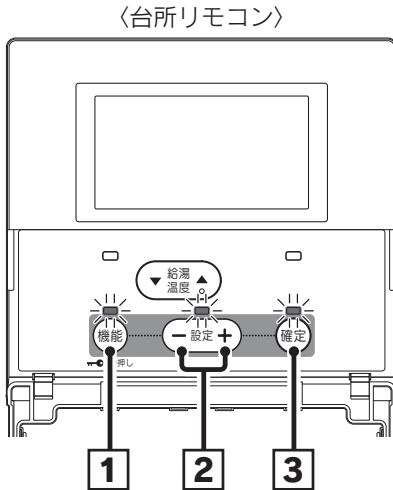
お知らせ

- 台所リモコンから音声またはブザーでお知らせしても、**お湯は自動的に止まりません**ので、必ず給湯栓を閉めてください。音声またはブザーは給湯栓を閉めるか、リモコンの運転スイッチを押して「切」にすると止まります。
- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、混合水栓側の設定温度を最高温度にしてお湯はりを行ってください。最高温度に設定しないと水が混ざり、浴そうからお湯があふれることがあります。
- 浴そうにお湯を入れているときに他の場所で大量にお湯を使用すると、設定した量にならないことがあります。
- お湯はりの途中に一度給湯栓を閉めると定量までのお湯はり量の計算は0に戻ります。また、浴そうにお湯(水)が残ったまま給湯栓を開けると、音声またはブザーでお知らせする前にあふれることがありますので注意してください。

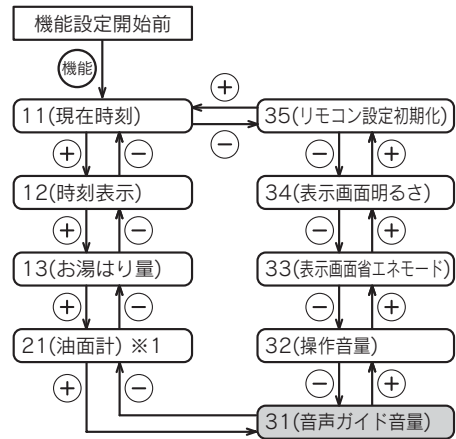
リモコンの設定

音声ガイド音量の設定

●発声する音声ガイド音量を調節することができます。



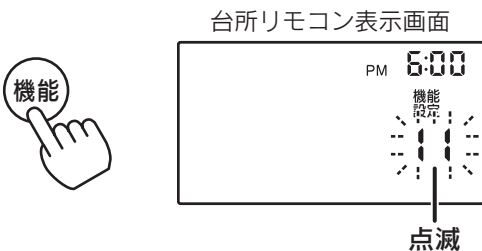
機能設定の順序



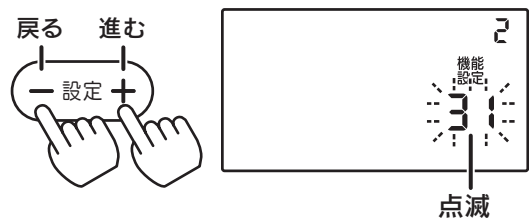
※1…設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エラーコード
「480」が表示されます。

1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

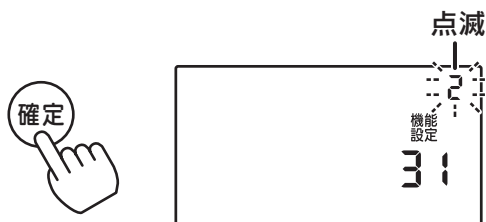


3 設定スイッチ②を押して「31」(音声ガイド音量)を選択する



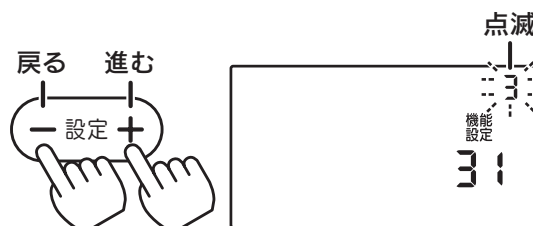
音声で「音声ガイド音量を設定します」とお知らせします。

4 確定スイッチ[3]を押す



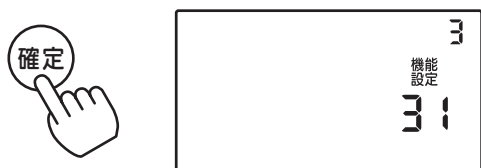
現在の設定が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

5 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



設定スイッチを押すごとに
「0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3」の順で変更できます。
(切) (小) (中) (大)

6 確定スイッチ[3]を押す



設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定できます。

7 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。

お知らせ

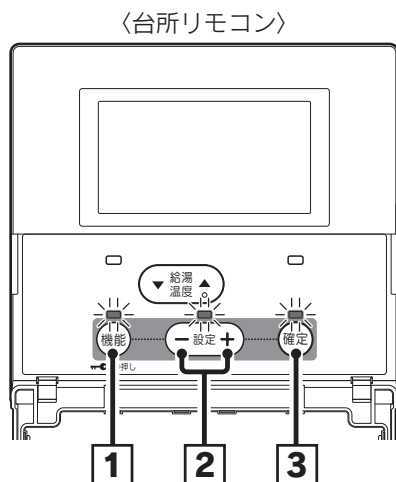
- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- 「5」で「1・2・3」を選択するとき、設定スイッチを押すごとに「この声でお知らせします」と発声します。
- 音声ガイド音量を「0(切)」に設定すると音声ガイドは消えますが、ブザー音でお知らせすることがあります。
- 音声ガイド音量を「1」に設定しても、「2」と同じ音量でお知らせすることがあります。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

41 ページ

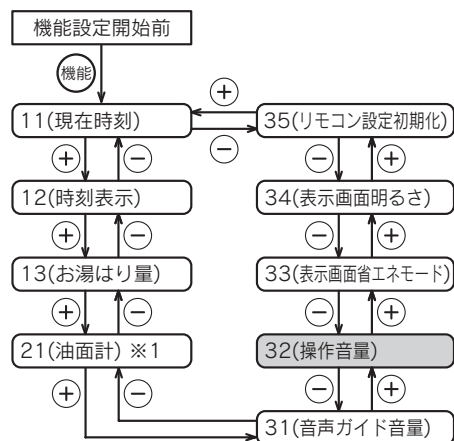
41 ページ

操作音量の設定

●スイッチを押したときに鳴る音の大きさ(操作音量)を調節することができます。



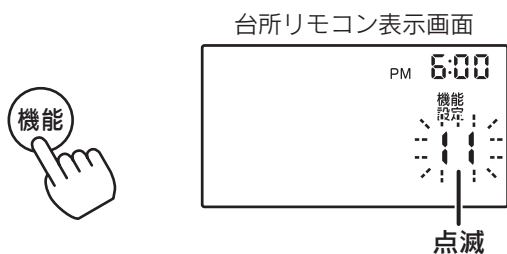
機能設定の順序



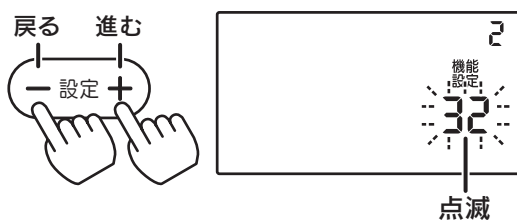
※1…設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エラーコード
「480」が表示されます。

1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

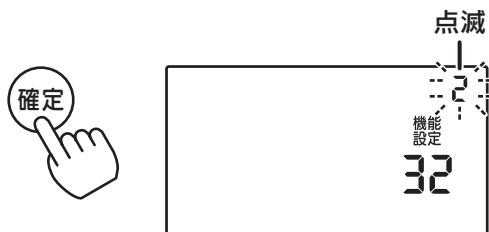


3 設定スイッチ[2]を押して「32」(操作音量)を選択する



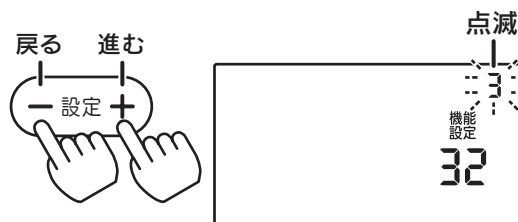
音声で「操作音量を設定します」とお知らせします。

4 確定スイッチ^③を押す



現在の設定が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

5 設定スイッチ^②を押して希望の内容を選択する



設定スイッチを押すごとに「0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3」の順で変更できます。
(切) (小) (中) (大)

6 確定スイッチ^③を押す



設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

続けて機能スイッチ^①を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ^②で他の機能を設定できます。

7 ふたを閉じる

通常が表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常が表示に戻ります。

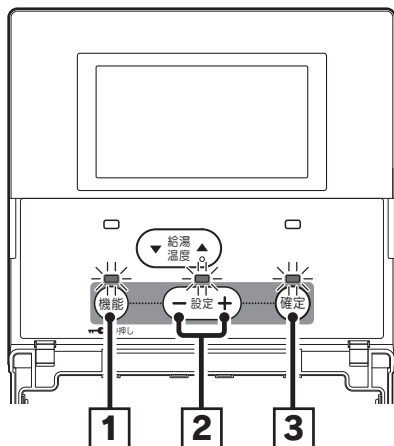
お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「2」に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常が表示に戻ります。

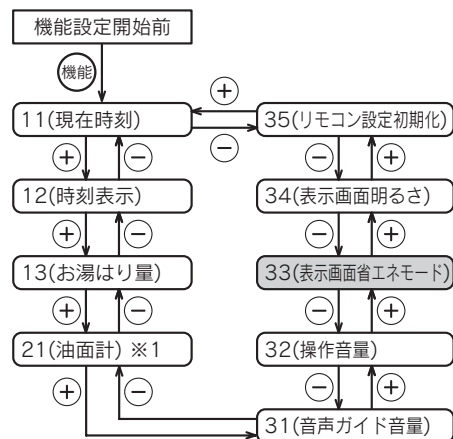
表示画面省エネモードの設定

●表示画面のバックライトの点灯状態を変更することができます。

〈台所リモコン〉



機能設定の順序



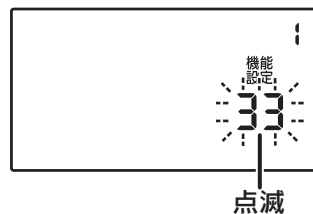
※1…設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エラーコード「480」が表示されます。

1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

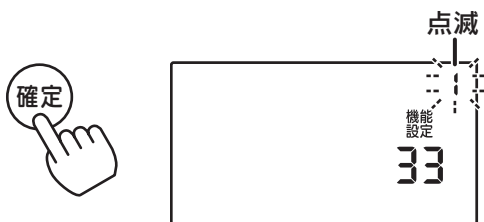


3 設定スイッチ②を押して「33」(表示画面省エネモード)を選択する



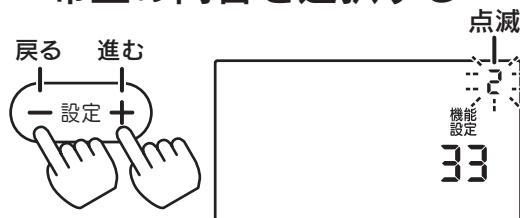
音声で「表示画面省エネモードを設定します」とお知らせします。

4 確定スイッチ³を押す



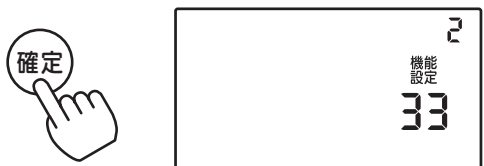
現在の設定が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

5 設定スイッチ²を押して希望の内容を選択する



設定スイッチを押すごとに「1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4」の順で変更できます。
(下表参照)

6 確定スイッチ³を押す



設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

続けて機能スイッチ¹を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ²で他の機能を設定できます。

7 ふたを閉じる

通常の見返しに戻ります。

約40秒間操作しないときも通常の見返しに戻ります。

設定	内 容
1	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗い節約モードになります。 (操作終了から約5分後)
2	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。 (操作終了から約5分後)
3	常に設定した明るさで表示します。
4	常にバックライトを消灯します。

お知らせ

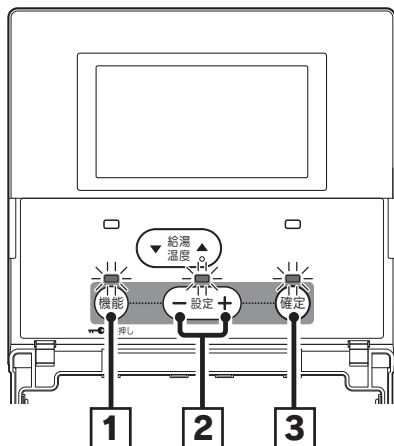
- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 表示画面省エネモードの設定内容は上表のとおりです。
- お買い求め時は「1」に設定されています。
- 「1」・「2」に設定していても、給湯温度を55℃以上に設定しているときは常に設定した明るさで表示します。
- 「1」・「2」は表示画面省エネモード中にリモコンを操作すると表示画面のバックライトは設定した明るさに戻ります。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常の見返しに戻ります。

リモコンの設定

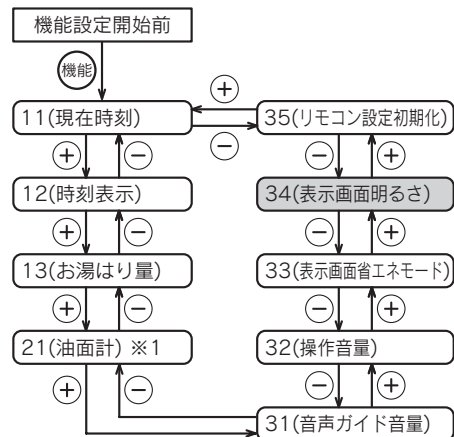
表示画面明るさの設定

●表示画面の明るさを変更することができます。

〈台所リモコン〉



機能設定の順序



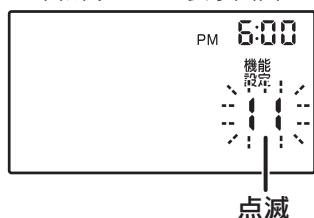
※1…設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エラーコード
「480」が表示されます。

1 ふたを開く

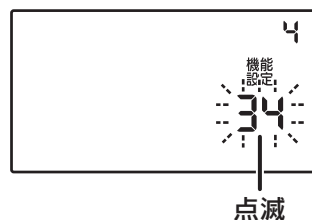
2 機能スイッチ①を押す



台所リモコン表示画面

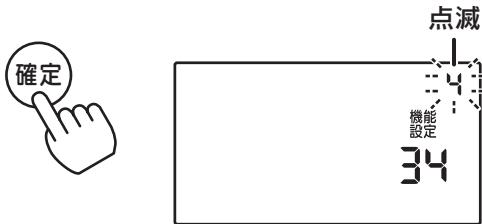


3 設定スイッチ②を押して「34」(表示画面明るさ)を選択する



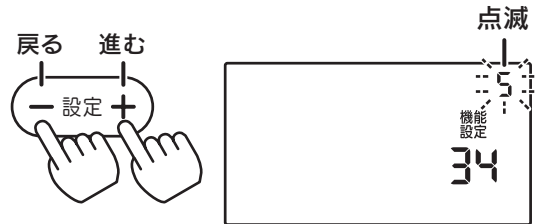
音声で「表示画面明るさを設定します」とお知らせします。

4 確定スイッチ[3]を押す



現在の設定が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

5 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



設定スイッチを押すごとに「1⇄2…6⇄7」の順で変更できます。 (暗) (明)

6 確定スイッチ[3]を押す



設定内容が点灯し、音声で「変更されました」とお知らせします。

続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定できます。

7 ふたを閉じる

通常が表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常が表示に戻ります。

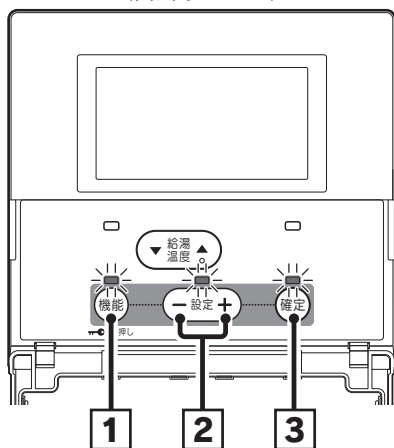
お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「4」に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常が表示に戻ります。

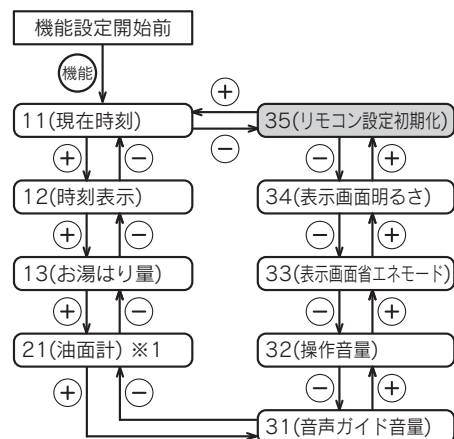
リモコン設定の初期化

●音・表示に関する設定項目をお買い求め時の状態に戻すことができます。

〈台所リモコン〉



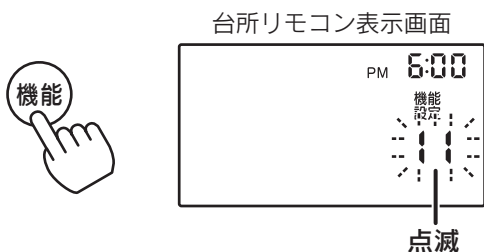
機能設定の順序



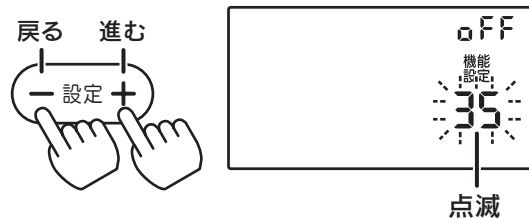
※1…設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エラーコード
「480」が表示されます。

1 ふたを開く

2 機能スイッチ①を押す

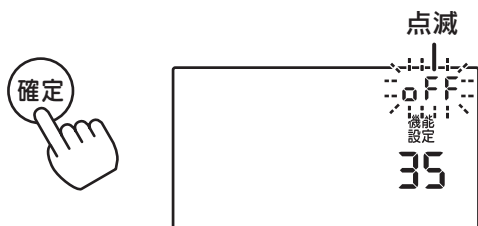


3 設定スイッチ②を押して「35」(リモコン設定初期化)を選択する



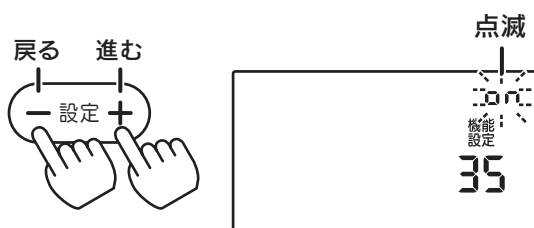
音声で「リモコン設定初期化を設定します」とお知らせします。

4 確定スイッチ[3]を押す



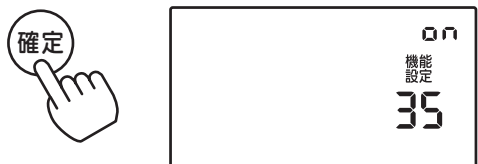
「OFF」が点滅し、音声で「設定してください」とお知らせします。

5 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



設定スイッチを押すごとに「on ⇄ OFF」を交互に繰り返します。
(する) (しない)

6 確定スイッチ[3]を押す



設定内容が点灯し、「5」で「on」に設定すると、音声で「初期化しました」とお知らせします。続けて機能スイッチ[1]を押すと機能設定番号が点滅を始め、設定スイッチ[2]で他の機能を設定できます。

7 ふたを閉じる

通常が表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常が表示に戻ります。

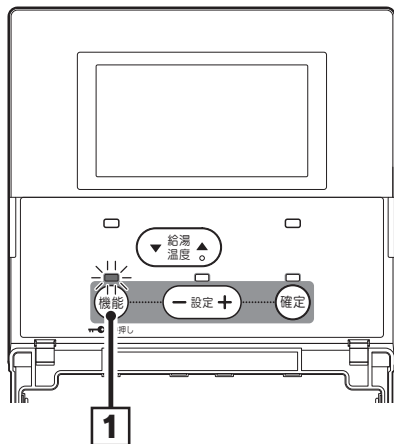
お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「OFF」に設定されています。
- 途中で設定をやめるときはふたを閉じてください。通常が表示に戻ります。

チャイルドロック機能

- お子様のいたずらによる運転開始、温度変更などを防止します。
- が点灯しているときは、「運転」を停止する操作のみ受け付けます。
その他の操作を行うと、音声で「チャイルドロックが設定されています」とお知らせします。
- 表示中にその他の操作をしたいときは、チャイルドロックの解除を行ってください。

〈台所リモコン〉



1 ふたを開く

2 機能スイッチ を約3秒間押す

音声で「チャイルドロックが設定されました」とお知らせし、表示画面に  が点灯します。



3 ふたを閉じる

チャイルドロックを解除するときは

機能スイッチ  を約3秒間押します。表示画面の  が消灯します。



お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 停電するとチャイルドロックは解除されます。

音声ガイド一覧

- 操作の一例を表示しています。
- ♪ はメロディが鳴ることを表しています。

台所リモコンでの操作

操作するスイッチ・条件など			台所リモコンの音声ガイド	台所リモコンの音声ガイド 音量「0(切)」のとき
運転「入」		55℃以上	あついお湯が出ます(※2)	ピピッ
		50℃以下	――	――
運転「切」			――	――
台所リモコン 優先のとき	給湯温度 上下	55℃以上	給湯温度が〇〇℃に変更されました あついお湯が出ます(※2)	――
		50℃以下	給湯温度が〇〇℃に変更されました	――
お湯はり量で設定した量のお湯(水)が 使用されたとき(※1)			♪設定量になりました おふろのじゃ口を閉めてください(※2)	ピピピピピピッ
機能スイッチを約3秒間押す			チャイルドロックが設定されました	――
操作を受け付けないとき(チャイルドロック設定中)			チャイルドロックが設定されています	ピピピピッ
eco			――	――
機能スイッチを押 したとき	機能設定番号 11	現在時刻を設定します	――	
	機能設定番号 12	時刻表示を設定します	――	
機能設定番号を変 更したとき	機能設定番号 13	お湯はり量を設定します	――	
	機能設定番号 21	油面計を設定します	――	
	機能設定番号 31	音声ガイド音量を設定します	――	
	機能設定番号 32	操作音量を設定します	――	
	機能設定番号 33	表示画面省エネモードを設定します	――	
	機能設定番号 34	表示画面明るさを設定します	――	
	機能設定番号 35	リモコン設定初期化を設定します	――	
設定を変更し、確定したとき			変更されました	――
操作を誤ったとき			受け付けできません 確認してください	ピピピピッ

※1…給湯栓を閉めるか、リモコンの運転スイッチを押して「切」にするまで繰り返しお知らせします。
 ※2…音声ガイドは「音声ガイド音量の設定」で「1」に設定しても「2」と同じ音量でお知らせします。

各部の名称とはたらき

●この機器はリモコンによって操作方法などが異なります。

台所リモコン (別売部品・CMR-2903…カンタンリモコン) 〔セット名：SRC-477M〕

① 運転スイッチ (運転ランプ)

運転・停止・リセットするときに押します。
運転スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度
押して「切」にしてから
再度押して「入」に
します。

② 時計スイッチ

現在時刻を設定するときに押します。

③ 給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。
「優先」が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。

▲…温度を高くする
(あつくなる)

▼…温度を低くする
(ぬるくなる)

温度調節範囲

…約32～75℃

32℃・35℃・37～50℃(1℃ごと)・55～75℃(5℃ごと)に設定できます。

選択した機能の設定を変更するときに押します。

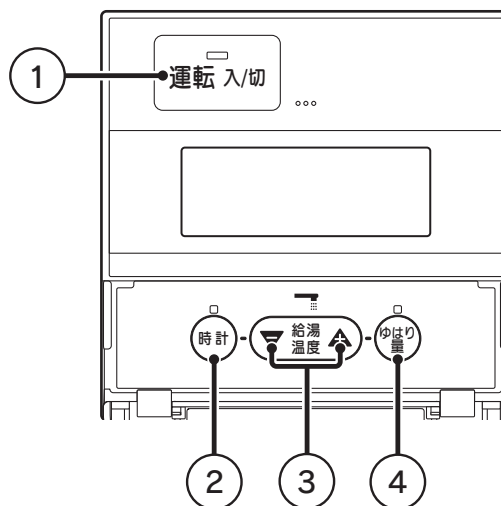
▲…時間や数値を増やす

▼…時間や数値を減らす

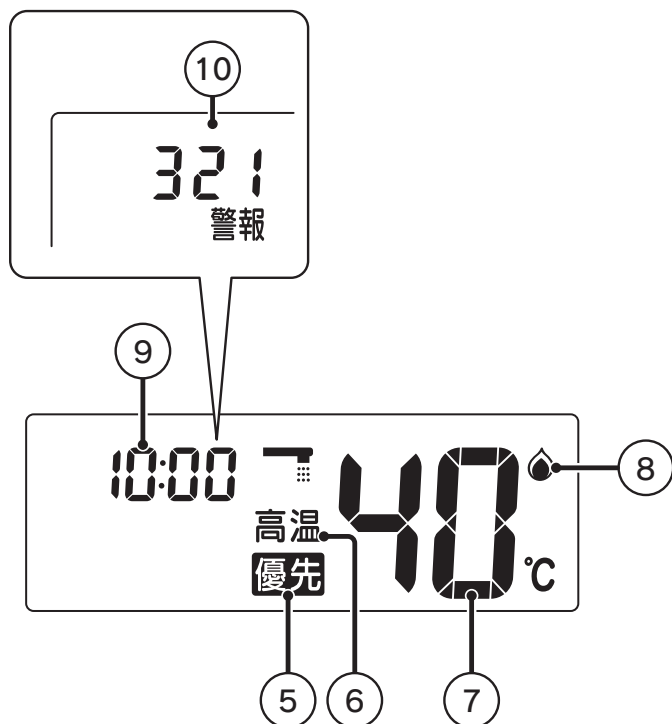
④ ゆはり量スイッチ

定量お知らせ機能のお湯はり量を設定するときに押します。

ふたを開いた状態です。



表示部



⑤ 優先表示	⑦ 給湯温度表示	⑨ 現在時刻表示
この表示が点灯しているときのみの給湯温度の調節ができます。 48 ページ 	給湯温度を表示します。	現在時刻を表示します。
⑥ 高温表示	⑧ 燃焼表示	⑩ エラーコード表示
給湯温度を 55℃ 以上に設定したときに表示します。	点灯…バーナーが燃焼しているときに表示します。 点滅…安全装置が作動し燃焼が(警報) 停止しています。	機器に何らかの異常があるときに表示します。 72・73 ページ 

表示は説明のためのもので実際とは異なります。

表示部の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。
- 表示部を正面以外から見ると表示色が変わって見える場合があります。
- 気温が下がると表示の切り替わりが遅くなる場合があります。

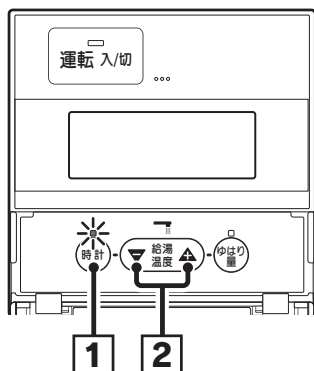
時刻の設定

42～56ページはカンタンリモコンの説明です。

現在時刻の設定

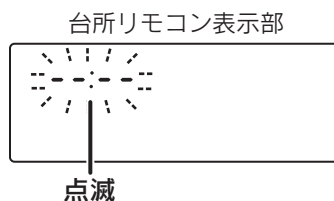
●台所リモコンで設定します。

〈台所リモコン〉



1 ふたを開く

2 時計スイッチ **1** を押す



現在の設定が点滅します。
現在時刻の設定を行っていないときは、「--:--」を表示します。

3 給湯温度調節スイッチ **2** を押して現在時刻を設定する



1回押すと1分単位、押し続けると10分単位で変わります。

4 時計スイッチ¹を押す



設定した現在時刻が確定され、通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも、現在時刻が確定され通常の表示に戻ります。

5 ふたを閉じる

お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- 停電や電源プラグを抜いた後、現在時刻を表示しないときは現在時刻を設定してください。
- このリモコンは24時間表示で現在時刻を表示します。

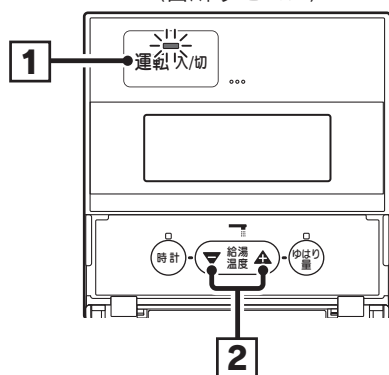
給湯運転 (お湯を出します)

給湯

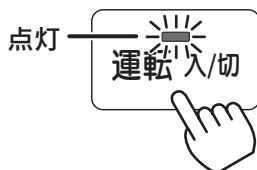
⚠ 注意

- シャワーを使用しているときは給湯温度の変更をしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- シャワーを使用するときはリモコンの給湯温度を確認し、いきなり体や頭にかけて必ず手で湯の温度を確認してから使用してください。
- 給湯温度をよく確認してから使用してください。55℃以上の高温で使用后、再度使用するときは特に注意してください。
- 停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

〈台所リモコン〉



1 運転スイッチ①を押して「入」にする



台所リモコン表示部



給湯温度



「高温」表示

運転ランプ、「優先」が点灯します。

給湯温度が55℃以上に設定されているときは、「高温」が点灯しブザーが「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

2 ふたを開く

3 給湯温度調節スイッチ²を押す

(一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)

ぬるくなる あつくなる

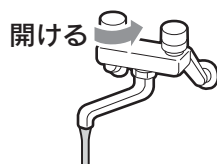


給湯温度は約32～75℃〔32℃・35℃・37～50℃(1℃ごと)・55～75℃(5℃ごと)〕の範囲で調節できます。

また、給湯温度が55℃以上に設定されているときは、すべてのリモコンで「高温」が点灯します。

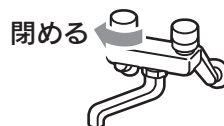
4 ふたを閉じる

5 給湯栓を開ける



自動的にバーナーが点火し、燃焼表示が点灯してお湯が出ます。お湯にならないときは、給湯栓をもう少し開けてください。

6 給湯栓を閉める



自動的にバーナーが消火し、燃焼表示が消灯します。次回お使いになるときはそのまま給湯栓を開けるだけで使用できます。

長時間使用しないときはリモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。リモコンの運転ランプが消灯します。

お知らせ

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンで給湯温度を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。リモコンの給湯温度は湯温安定のため、混合水栓の設定温度より約10℃高めにして使用してください。
- サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
- じゃ口から出る水が少ないときは、点火しないことがあります。点火できる最小の流量は、毎分約2.5リットルです。

リモコンの優先について

注意

- シャワーを使用しているときは給湯温度の変更をしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- 台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯使用中に他の人が給湯温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどをしたり冷水による思わぬ事故につながったりすることがあります。このような事故を防止するため、「優先」が点灯しているリモコン以外は給湯温度が変更できないようになっています。

給湯量と給湯温度の早見表

- 給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。

機器本体の最大給湯量は毎分約32リットル(HMG-Q477MKF・HMG-Q397MKFは約20リットル)、最小給湯量は毎分約2.5リットルです。

- 給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。

HMG-Q397MKF

給湯量 (L/分)			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春期・秋期)	25℃ (夏期)
37℃	約17	約20	約20
45℃	約14	約18	
55℃	約11	約14	約18
65℃	約9	約11	約14

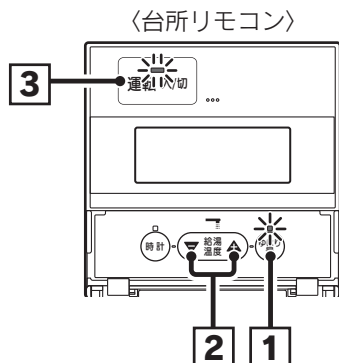
HMG-Q477MSE・HMG-Q477MSF HMG-Q477MKF

給湯量 (L/分)			
給湯温度	給水温度		
	5℃ (冬期)	15℃ (春期・秋期)	25℃ (夏期)
37℃	約20	約30 (20)	約32 (20)
45℃	約16	約22 (20)	
55℃	約13	約16	約22 (20)
65℃	約11	約13	約16

※()内はHMG-Q477MKFです。

定量お知らせ機能

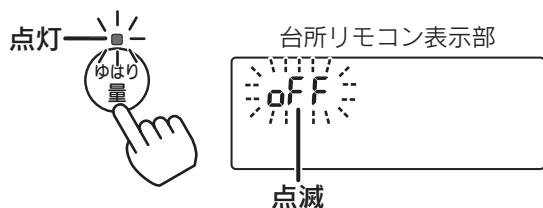
- 設定量のお湯が出ると台所リモコンからブザーでお知らせします。
- 浴そうにお湯を入れるときに使用すると便利です。
- 台所リモコンで設定します。



お湯はり量の設定方法

1 ふたを開く

2 ゆはり量スイッチ[1]を押す



現在の設定が点滅します。

3 給湯温度調節スイッチ[2]を押して希望の量を設定する



お湯はり量は約100～500リットルの範囲を10リットル単位で設定できます。
使用しないときは「OFF」に設定してください。

4 ゆはり量スイッチ[1]を押す

設定内容が確定し通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しないときも通常の表示に戻ります。



5 ふたを閉じる

お知らせ

- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定できます。
- お買い求め時は「OFF」(定量お知らせ機能「切」)に設定されています。

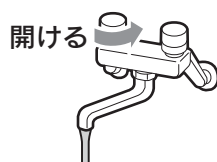
使用方法

⚠ 注意

- リモコンの給湯温度でお湯はりをしますので、給湯温度を確認してください。給湯温度が高いとやけどのおそれがあります。
- 入浴するときは必ず手でお湯の温度を確かめてください。

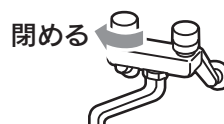
- 運転スイッチ [3] が「切」のときは押して「入」にしてください。

1 給湯栓を開ける



設定した量のお湯が出ると、台所リモコンからブザーでお知らせします。

2 給湯栓を閉める



ブザーが止まります。

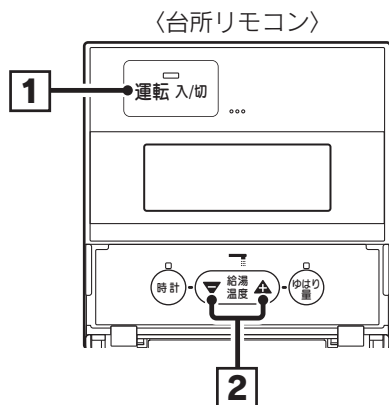
お知らせ

- 台所リモコンからブザーでお知らせしても、**お湯は自動的に止まりません**ので、必ず給湯栓を閉めてください。ブザーは給湯栓を閉めるか、リモコンの運転スイッチを押して「切」にすると止まります。
- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、混合水栓側の設定温度を最高温度にしてお湯はりを行ってください。最高温度に設定しないと水が混ざり、浴そうからお湯があふれることがあります。
- やけどのおそれがありますので 50℃ 以上の温度に設定しないでください。
- 浴そうにお湯を入れているときに他の場所で大量にお湯を使用すると、設定した量にならないことがあります。
- お湯はりの途中で給湯栓を閉めると定量までのお湯はり量の計算は0に戻ります。また、浴そうにお湯(水)が残ったまま給湯栓を開けると、ブザーでお知らせする前にあふれることがありますので注意してください。

リモコンの設定

表示部省エネモードの設定

●表示部のバックライトの点灯状態を変更することができます。



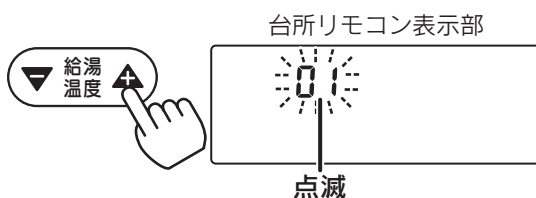
1 運転スイッチ **1** を押して「切」にする



※運転スイッチが「入」のとき

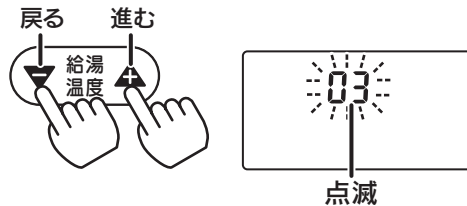
2 ふたを開く

3 給湯温度調節スイッチ **2** の **▲** を約5秒間押す



現在の設定が点滅します。

4 給湯温度調節スイッチ^②を押して希望の内容を選択する



給湯温度調節スイッチを押すごとに「01⇄02⇄03⇄04」の順で変更できます。
希望の表示部省エネモードを選択します。(下表参照)

5 運転スイッチ^①を押す



設定した表示部省エネモードが確定され、運転スイッチが「入」の状態になります。約40秒間操作しないときは表示部省エネモードが確定され、運転スイッチが「切」の状態になります。

6 ふたを閉じる

設定	内 容
01	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗い節約モードになります。 (操作終了から約5分後)
02	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。 (操作終了から約5分後)
03	常に設定した明るさで表示します。
04	常にバックライトを消灯します。

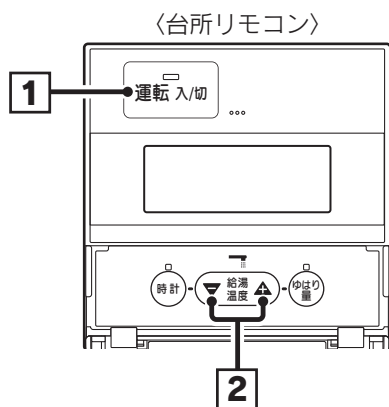
お知らせ

- 表示部省エネモードの設定は上表となります。
- お買い求め時は「01」に設定されています。
- 「01」・「02」に設定していても、給湯温度を55℃以上に設定しているときは常に設定した明るさで表示します。
- 「01」・「02」は表示部省エネモード中にリモコンを操作すると表示部のバックライトは設定した明るさに戻ります。

リモコンの設定

表示部明るさの設定

●表示部の明るさを変更することができます。



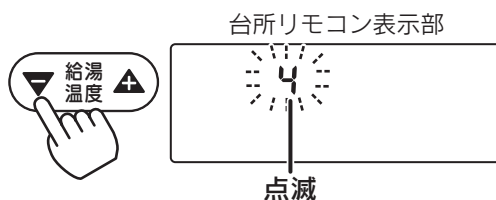
1 運転スイッチ[1]を押して「切」にする



※運転スイッチが「入」のとき

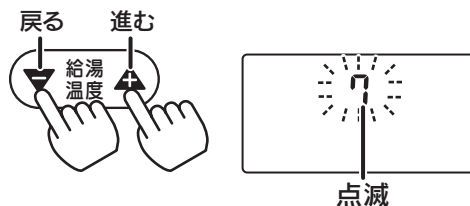
2 ふたを開く

3 給湯温度調節スイッチ[2]の▼を約5秒間押す



現在の設定が点滅します。

4 給湯温度調節スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



給湯温度調節スイッチを押すごとに「1⇄2…6⇄7」の順で変更できます。
(暗) (明)

5 運転スイッチ[1]を押す

設定した表示部明るさが確定され、運転スイッチが「入」の状態になります。約40秒間操作しないときは表示部明るさが確定され、運転スイッチが「切」の状態になります。



6 ふたを閉じる

お知らせ

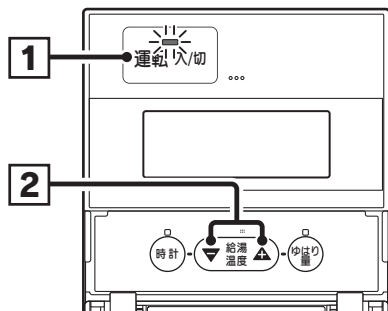
- お買い求め時は「4」に設定されています。

リモコンの設定

操作音の設定

- リモコンのスイッチを押したときに鳴る音(操作音)の「on(あり)」、「oFF(なし)」を設定することができます。

〈台所リモコン〉



1 ふたを開く

2 運転スイッチ[1]と給湯温度調節スイッチ[2]の▼を同時に約5秒間押す



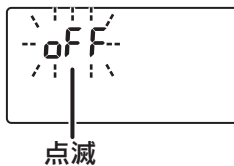
台所リモコン表示部



現在の設定が点滅します。

点滅

3 給湯温度調節スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



給湯温度調節スイッチを押すと「on ⇄ oFF」を交互に繰り返します。

(あり) (なし)

約40秒間操作しないときは設定内容が確定され通常の表示に戻ります。

点滅

4 ふたを閉じる



- 運転スイッチの「入・切」に関係なく設定することができます。
- お買い求め時は「on(あり)」に設定されています。
- 操作音を「oFF(なし)」に設定しても、給湯温度高温設定時の警告音・呼出音は消えません。

●このページは空白です。

凍結予防

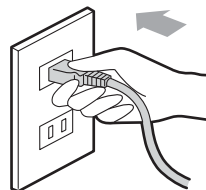
- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

凍結予防装置による方法(自動)

電源プラグの確認

(給水経路の凍結予防)

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでおくことにより、凍結予防ヒータが作動して機器内の給水経路を保温します。



- 冷え込みが厳しいときや、風が強いときは凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」の処置を行ってください。

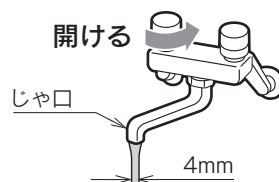
じゃ口から水を流す方法

1 運転スイッチを押して「切」にする



※運転スイッチが「入」のとき

2 給湯栓を開ける



2ハンドル混合栓の湯側を開けて、じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側にして開けてください。

お知らせ

- 機器だけでなく、配管やバルブなどの凍結予防にもなります。
- 給湯栓からの流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度確認してください。
- この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません）

⚠ 注意

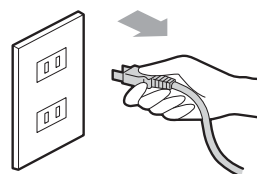
- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。
- 必ず操作の順序を守ってください。

1 運転スイッチを押して「切」にする



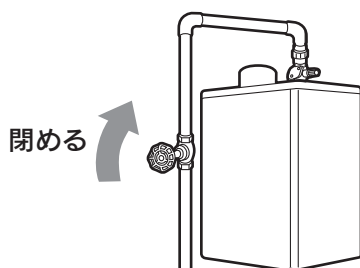
※運転スイッチが「入」のとき

2 電源プラグを抜く

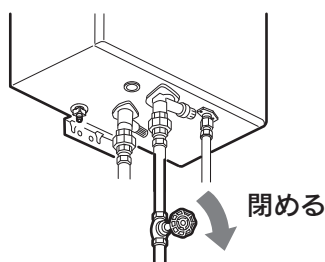


3 給水元栓を閉める

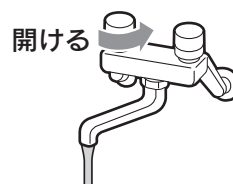
HMG-Q477MSE
HMG-Q477MSF



HMG-Q477MKF
HMG-Q397MKF



4 給湯栓を開ける (機器からできるだけ離れた1箇所)

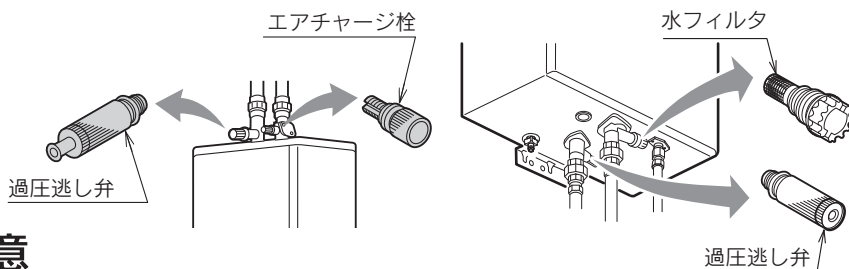


シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを湯側にして開けてください。

5 過圧逃し弁、エアチャージ栓をはずす

HMG-Q477MSE
HMG-Q477MSF

HMG-Q477MKF
HMG-Q397MKF



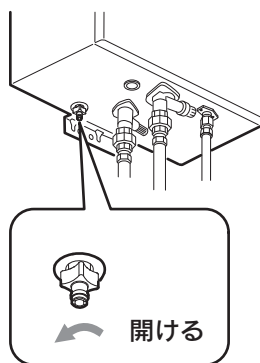
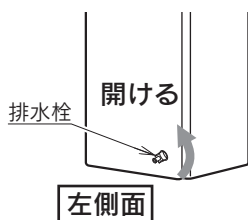
⚠ 注意

はずした過圧逃し弁・エアチャージ栓・水フィルタは、次にお使いになるまではずしたままにしてください。機器内の残水や配管などの条件によって変わりますが、約1リットルの水が出ます。屋内設置の場合は受皿などを準備し水を受けてください。

6 排水栓を開ける

HMG-Q477MSE
HMG-Q477MSF

HMG-Q477MKF
HMG-Q397MKF



⚠ 注意

排水栓を開けると、中央の穴からお湯(水)が出ます。機器内の残水や配管などの条件によって変わりますが、約1リットルの水が出ます。受皿などを準備し水を受けてください。

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
- はずした排水栓・過圧逃し弁・エアチャージ栓・水フィルタは紛失しないように注意してください。

運転開始時の注意

- 機器を運転する前には必ず排水栓を閉め、過圧逃し弁・エアチャージ栓・水フィルタを元通りに取付け、給水元栓を開けてから水が出ることを確認してください。
その後、「**使用前の準備**」・各リモコンの給湯運転に従って使用してください。確認せずに運転すると機器が破損することがあります。

14~17・24~26・46~49 ページ

- 氷点下で長時間置かれた状態からの運転時、まれにエラーコード「651」・「661」が表示されることがあります。そのようなときは、リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてリセットしてください。

72・73 ページ

水が出ることを確認

機器からできるだけ離れた1箇所の給湯栓を開けて、水が出ることを確認してください。
水が出にくいときには凍結していることがありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。



安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置 (感震器)	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動停止します。	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
燃焼制御装置 (制御基板)	バーナーが着火ミス・断火・異常燃焼したときに作動して自動停止します。	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動停止します。	再通電後は運転停止状態になりますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを押して「入」にしてください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
異常過熱防止装置	サーミスタや燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だきなどにより熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
温度ヒューズ 〔133℃(※1)・184℃〕		
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。	機器を運転したときや凍結のおそれなくなると自動的に停止します。
電流ヒューズ (10A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
送風機ヒューズ (3A)		
過圧逃し弁	熱交換器内の圧力が異常に上昇したときに作動して、圧力を外部に逃がして熱交換器を保護します。	給湯栓を閉めたときに少量の水が出ても故障ではありません。連続して出るときは、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。

※ 1…HMG-Q477MKF・HMG-Q397MKFにはありません。

使用上の注意

注意

給排気筒・排気筒に注意

- 燃焼中や消火直後の給排気筒・排気筒は高温です。手など触れないように注意してください。やけどのおそれがあります。

高温注意

- シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワーを使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。

安全装置が作動したときは

- 安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。

 62 ページ

機器内のお湯(水)について

- 機器内や配管内に長時間たまっていたお湯(水)は、使用水の水質・配管材料の劣化・水あかなどにより水質が変わることがあります。飲用または調理に使用しないでください。

油切れに注意

- 油タンクを空にしないように注意してください。何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

日常の点検・手入れを行う

66～68 ページ

停電後の使用方法

- 停電するとリモコンの運転スイッチは「切」になります。一度電源が切れると再通電後は運転を行いません。リモコンの運転スイッチを押して「入」にし、使用してください。停電中は給湯栓を閉めてください。

停電復帰後は給湯温度を記憶していますが、現在時刻は消えることがありますので確認してください。

20・21・44・45 ページ

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは凍結予防の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

59・60 ページ

地震などの被害があったとき

- リモコンの運転スイッチを押して「切」にし、電源プラグを抜いて使用を中止してください。
機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。

冬期に停電したとき

- 凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「じゃ口から水を流す方法」から「1」または「機器内の水を抜く方法」から「1・2」を除いて凍結予防の処置を行ってください。

58～60 ページ

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

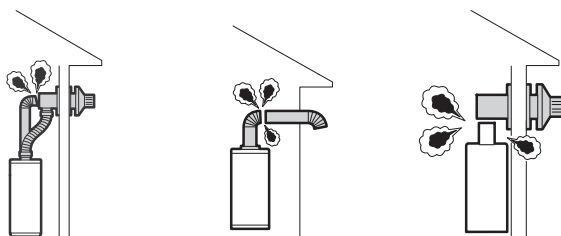
⚠ 注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常があるときはお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

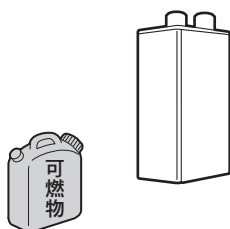
毎日

給排気筒や排気筒の接続部の緩み、およびトップの周囲



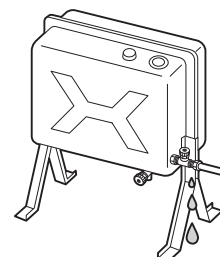
排気筒およびトップ・給排気筒に緩みがないこと、周囲に可燃物がないこと、またススがついていないことを確認してください。緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所に点検を依頼してください。

周囲の可燃物



機器・給排気筒・排気筒・油タンクの周囲に可燃物や危険物がないことを確認してください。

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

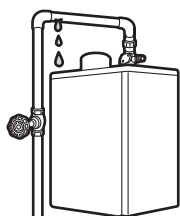


機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ・油のたまり・油のにじみがないことを確認してください。

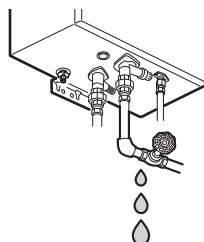
適時に

水漏れ

HMG-Q477MSE
HMG-Q477MSF

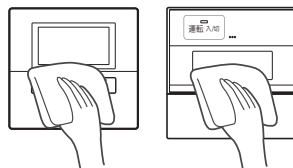


HMG-Q477MKF
HMG-Q397MKF



機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

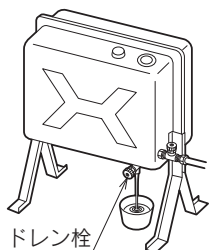
リモコン



水や化学そうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。

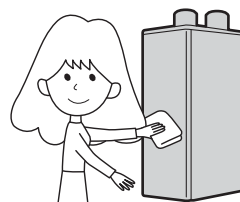
1年に1回以上

油タンク



油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開けて抜きとってください。ドレン栓の形状はタンクによって異なります。

ほこり



機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。手袋などをして行ってください。

使上
つてに
ね

ゴム製送油管の点検・交換のめやす

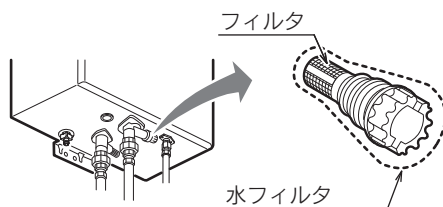
ゴム製送油管を点検し、傷・ひび割れ・劣化があるときはお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所に交換を依頼してください。ゴム製送油管は傷・ひび割れ・劣化がなくても3年に1回程度は交換してください。

水フィルタの掃除

HMG-Q477MKF・HMG-Q397MKF

配管内のゴミが水フィルタにたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

1. 給水元栓を閉め、水フィルタをはずします。固くて回らないときは、コインなどを水フィルタの溝に差し込んで回してください。
 2. 水フィルタについているフィルタを掃除します。フィルタを変形させないようにしてください。
 3. 掃除後は水フィルタを取付け、給水元栓を開けた後、給湯栓を開け、配管内の空気を抜いてください。
- ※機器内の残水や配管などの条件によって変わりますが、約 1 リットルの水が出ます。受皿などを準備し水を受けてください。



HMG-Q477MSE・HMG-Q477MSF

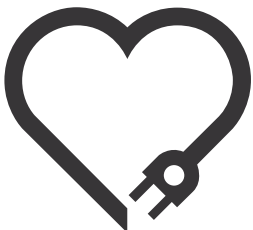
お買い求めの販売店に点検を依頼してください。

油タンク・油ストレーナの点検

油タンク・油ストレーナに水やゴミがたまっていないことの確認をお買い求めの販売店、またはお近くのサンボット支店・営業所に依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店、またはお近くのサンボット支店・営業所にご相談ください。(定期点検は有料です。)

愛情点検 	長年ご使用の石油給湯機の点検を！	
	こんな症状は ありませんか？ ●水漏れ・油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止 故障や事故防止のためコンセントから電源プラグを抜いて、必ずお求めの販売店、または石油機器技術管理士などに、点検修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

法定点検

- この機器は、消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

給湯(シャワー)に関すること

現 象	説 明
給湯栓を開けてもお湯が出ない	・少流量では点火しないことがあります。給湯栓をもう少し開けて使用してください。 ・断水していませんか。 ・水フィルタや給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。 ・凍結していませんか。 ・リモコンの運転スイッチが「切」になっていませんか。  68 ページ
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出ない	・機器から混合水栓までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
給湯温度調節スイッチを押しても給湯温度が変わらない	・リモコンの優先ランプ、「優先」が点灯していないと給湯温度の調節ができません。  26・48 ページ
給湯温度・給湯量が不安定になる	・他の混合水栓を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、給湯量が少なくなったりすることがあります。 ・水道の圧力や配管条件によっては給湯量が変わることがあります。
出湯量が少ない	・ecoスイッチを「入」にしていると、出湯量が減ることがあります。
お湯が白く見える	・水中に溶けていた空気が分離して白く見えたり、小さな泡となって出てきたりするためです。
お湯の出が悪くなった	・水フィルタや給湯栓のフィルタにゴミなどがつまっていますか。掃除してください。  68 ページ
給湯運転時に点火・消火を繰り返す	・給湯温度を調節するために、点火・消火を繰り返し行うことがあります。

給湯器本体・リモコンに関すること

現 象	説 明
給排気筒・排気筒から湯気が出る	・排ガスが水蒸気を多く含んでいるため冷たい外気に触れて白く見えます。
リモコンの運転ランプ、表示画面(部)が点灯しない	・停電していませんか。(停電復帰しても、自動的に運転は「入」になりません。) ・電源プラグを抜いていませんか。
停電復帰後、リモコンの表示画面(部)が点灯しない	・リモコンの運転スイッチを押して「入」にすると表示画面(部)が点灯します。  65 ページ
リモコンの表面が熱く感じる	・使用中は表示画面(部)などが点灯していますので、リモコン表面が熱く感じる場合があります。
時刻表示が消えている	・停電などで電源が切れた後は時刻が消えることがありますので、再度時刻を設定してください。  20・21・44・45 ページ
リモコンの表示画面(部)が暗い	・表示画面(部)省エネモードの設定が「4」(常にバックライトを消灯)または「2」(操作終了から約5分後にバックライトを消灯)に設定されているためです。 ・表示画面(部)明るさの設定が「1」・「01」(暗い)側に設定されているためです。  34～37・52～55 ページ
リモコンの表示画面(部)が暗くならない	・表示画面(部)省エネモードの設定が「3」・「03」(常に設定した明るさで表示)に設定されているためです。 ・給湯温度が55℃以上に設定されているためです。  34・35・52・53 ページ
過圧逃し弁からお湯(水)が出る	・熱交換器内の圧力が上がりすぎないように、上昇した圧力を逃がすためです。
リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	・燃焼室内の排ガスを排出するためです。約90秒間で停止します。
燃料切れをした後、給油しても火がつかない	・燃料切れをした後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと火が付きません。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。  15 ページ
使用中に消火した	・燃料切れしていませんか。 ・断水していませんか。 ・少流量では点火しないことがあります。給湯栓をもう少し開けて使用してください。

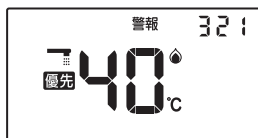
エラーコード一覧

- エラーコードをそれぞれのリモコンの表示画面(部)に表示します。
- エラーコードが表示されたときは以下の処置を行ってください。
- 確認・処置後リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。

- エラーコード表示例(警報・エラーコード・燃焼表示が点滅します。)

音声リモコンの場合

〈台所リモコン〉



カンタンリモコンの場合

〈台所リモコン〉



エラーコード	説 明	確 認 ・ 処 置
100	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセットしてください。
111	着火ミス	油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。
121 510	途中断火	何度もリセットを繰り返すと危険です。 2、3回リセットしても直らない場合は、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
130	再点火防止機能作動	お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
140	温度ヒューズ断線	
150 160 590	異常過熱防止装置作動	
161	給湯温度異常	
170	バーナー温度異常	
311	給水サーミスタ異常	
321	給湯サーミスタ異常	
330	缶体出口サーミスタ異常	
350	油サーミスタ異常	
470	バーナーサーミスタ異常	
480	(警告表示)	(油面計) 設定を「oFF」に戻してください。
550	ダンパーモータ異常	お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
611	送風機異常	

エラーコード	説 明	確 認 ・ 処 置
651	水比例弁異常(※1) (警告表示)	電源プラグを差し直してください。
661	混合弁異常(※1)	
721	炎検出異常	お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
731 732 733	制御基板(記憶回路)異常	電源プラグを差し直してください。
740 750 760	通信異常	
830	(警告表示)	(油面計)設定を「oFF」に戻してください。  19 ページ
888	設計標準使用期間経過 (警告表示)	10年相当ご使用されたため、「点検時期をお知らせする機能」が働いてお知らせをしています。(故障ではありません。) 使用はできますが、安全のためお早めに点検(有料)を受けてください。 連 絡 先:サンポット株式会社  電話 0120-911-064 (2を選択、通話料無料) 受付時間:(平日) 9:00~17:00 ※年末年始を除く

※1…エラーコード「651」・「661」は機器に給水する前にリモコンの運転スイッチを押して「入」にすると表示されることがあります。機器内の水を抜いた後でエラーコードが表示されたときは、機器に給水してからリセットしてください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「切」にしてから再度押して「入」にします。

■警告表示について

エラーコードが表示されても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所に依頼してください。

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したまま使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所に依頼してください。

仕 様

型 名	HMG-Q477MSE	HMG-Q477MSF
型 式 の 呼 び	HMG-Q477	
種 類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形	
	屋内用半密閉式 強制排気形	屋内用密閉式 強制給排気形
点 火 方 式	高圧放電式	
最 低 作 動 水 量	2.5±0.5L/min	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量	54.0kW(5.25L/h)	
連 続 給 湯 効 率	86.5%	
連 続 給 湯 出 力	46.5kW(40,000kcal/h)	
熱 交 換 器 容 量	1.0L	
使用圧力(最高使用圧力)	1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝 熱 面 積	0.33m ²	
外 形 寸 法	高さ780mm 幅 256mm 奥行571mm	
質 量 (満 水 時)	32kg(33kg)	33kg(34kg)
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	点火時100/100W 燃焼時95/95W	点火時110/103W 燃焼時105/98W
待 機 時 消 費 電 力	2.0W	
排 気 筒 の 呼 び 径	106	—
給排気筒の型式の呼び	—	FF-70-092
給 排 気 筒 の 呼 び 径	—	D70
給排気筒の壁貫通部の孔径	—	φ 120mm
排 気 温 度	260℃以下	
騒 音 レ ベ ル	45dB(室内)	44dB(室内)
ノズル	噴 霧 量	1.45GPHリターンノズル
	スプレーパターン	エバーロイ社のセミフォロー
	噴 霧 角 度	70°
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A	
送 風 機 ヒ ュ ー ズ	3A	
温 度 ヒ ュ ー ズ	133℃・184℃	
安 全 装 置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置	
そ の 他 の 装 置	異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置 電流ヒューズ・送風機ヒューズ・過圧逃し弁	
付 属 品	給水口保温材・出湯口保温材・ビニルホース(金具付) ゴム製送油管・送油管接続パイプ タッピンねじ(リモコン取付用)・転倒防止金具 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
	アミ付エルボトップ	抜け防止金具
別 売 部 品	台所リモコンセット・リモコンコード	
	—	給排気筒セット
区 分 名 (省エネ法)	A	
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	86.5%	

故障かな？

仕 様

型 名	HMG-Q477MKF	
型 式 の 呼 び	HMG-Q477	
種 類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形 屋内用密閉式強制給排気形	
点 火 方 式	高圧放電式	
最 低 作 動 水 量	2.5±0.5L/min	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量	54.5kW(5.30L/h)	
連 続 給 湯 効 率	86.0%	
連 続 給 湯 出 力	46.5kW(40,000kcal/h)	
熱 交 換 器 容 量	1.0L	
使用圧力(最高使用圧力)	1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝 熱 面 積	0.26m ²	
外 形 寸 法	高さ670mm 幅 480mm 奥行230mm	
質 量 (満 水 時)	29kg(30kg)	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	点火時140/135W 燃焼時120/115W	
待 機 時 消 費 電 力	2.0W	
給排気筒の型式の呼び	FF-70-062 または FF-70-082 または FF-70-062L または FF-70-082R	
給 排 気 筒 の 呼 び 径	D70	
給排気筒の壁貫通部の孔径	φ120mm	
排 気 温 度	260℃以下	
騒 音 レ ベ ル	46dB(室内)	
ノズル	噴 霧 量	1.45GPHリターンノズル
	スプレーパターン	エバーロイ社のセミフォロー
	噴 霧 角 度	70°
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A	
送 風 機 ヒ ュ ー ズ	3A	
温 度 ヒ ュ ー ズ	184℃	
安 全 装 置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置	
そ の 他 の 装 置	異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置 電流ヒューズ・送風機ヒューズ・過圧逃し弁	
付 属 品	ゴム製送油管・ビニルホース(金具付)・木ねじ・タッピンねじ(リモコン取付用) 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
別 売 部 品	台所リモコンセット・リモコンコード・給排気筒セット	
区 分 名 (省エネ法)	A	
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	86.0%	

型 名	HMG-Q397MKF	
型 式 の 呼 び	HMG-Q397	
種 類	圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形 屋内用密閉式強制給排気形	
点 火 方 式	高圧放電式	
最 低 作 動 水 量	2.5±0.5L/min	
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量	45.3kW(4.40L/h)	
連 続 給 湯 効 率	86.0%	
連 続 給 湯 出 力	39.0kW(33,500kcal/h)	
熱 交 換 器 容 量	1.0L	
使用圧力(最高使用圧力)	1.0MPa(10kgf/cm ²)	
伝 熱 面 積	0.26m ²	
外 形 寸 法	高さ670mm 幅 480mm 奥行230mm	
質 量 (満 水 時)	29kg(30kg)	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	点火時130/120W 燃焼時95/90W	
待 機 時 消 費 電 力	2.0W	
給排気筒の型式の呼び	FF-70-062 または FF-70-082 または FF-70-062L または FF-70-082R	
給 排 気 筒 の 呼 び 径	D70	
給排気筒の壁貫通部の孔径	φ 120mm	
排 気 温 度	260℃以下	
騒 音 レ ベ ル	45dB(室内)	
ノズル	噴 霧 量	1.45GPHリターンノズル
	スプレーパターン	エバーロイ社のセミフォロー
	噴 霧 角 度	70°
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A	
送 風 機 ヒ ュ ー ズ	3A	
温 度 ヒ ュ ー ズ	184℃	
安 全 装 置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置	
そ の 他 の 装 置	異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置 電流ヒューズ・送風機ヒューズ・過圧逃し弁	
付 属 品	ゴム製送油管・ビニルホース(金具付)・木ねじ・タッピンねじ(リモコン取付用) 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
別 売 部 品	台所リモコンセット・リモコンコード・給排気筒セット	
区 分 名 (省エネ法)	A	
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	86.0%	

●このページは空白です。

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に70～73ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……石油小形給湯機
2. 型 名……機器の前パネルに貼ってあるシールに記載されています。

HMG-Q477MSE ・ HMG-Q477MSF

HMG-Q477MKF ・ HMG-Q397MKF

 10・11 ページ

3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています(巻末)

- 正常な使用状態において故障した場合は、保証書の規定に従って修理いたします。
お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご連絡ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後
11年です

- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることを確認してください。

試運転(試運転はお買い求めの販売店または据付業者と一緒に必ず行ってください。)

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2. 油タンクや送油管(屋外は銅パイプ)の接続部から油漏れはありませんか。	
3. 送油管が逆U字型になっていませんか。	
4. 給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
5. 機器や配管から水漏れはありませんか。	
6. リモコンは確実に接続されていますか。	
7. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

1. 運転開始手順

リモコンの運転スイッチを押して「入」にしてください。運転ランプが点灯します。
優先ランプ、「優先」が点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチで希望の温度に調節し、給湯栓を開けてください。

2. 初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ピーピー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼を始めます。

3. 正常運転のめやす

給湯栓を開けると、バーナーが点火し燃焼表示が点灯します。
給湯温度の調節ができること、給排気筒・排気筒からススや煙が出ていないこと、異音がないことを確認してください。

4. 停止

給湯栓を閉めるとバーナーが停止して燃焼表示が消灯します。
リモコンの運転スイッチを押して「切」にしてください。

お知らせ

- 試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
- リモコンの表示画面(部)にエラーコードが表示されてバーナーが停止したときは、エラーコードを参照して確認・処置してください。

サンポット石油小形給湯機保証書(販売店様控)

型 名	HMG-Q477MSE・HMG-Q477MSF HMG-Q477MKF・HMG-Q397MKF
★製造番号	No.
保証期間	1 年

★お買い上げ日	年 月 日
★お 客 様	ご住所 _____
	お名前 _____ 様
	電話 ()
★販 売 店	住所・店名 _____
	電話 ()

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1) 保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2) 保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ



サンポット株式会社

〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26
お客様相談窓口 TEL 0198-37-1177

サンポット石油小形給湯機保証書(お客様控)

型 名	HMG-Q477MSE・HMG-Q477MSF HMG-Q477MKF・HMG-Q397MKF
★製造番号	No.
保証期間	1 年

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より向こう一年間、本書記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

★お買い上げ日	年 月 日
★お 客 様	ご住所 _____
	お名前 _____ 様
	電話 ()
★販 売 店	住所・店名 _____
	電話 () (印)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのサンポット支店・営業所へご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
- (13) 公害による不具合
- (14) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (15) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、またはお近くのサンポット支店・営業所にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。



サンポット株式会社

〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26 お客様相談窓口 TEL 0198-37-1177

サンポット株式会社

お客様相談窓口

〔受付時間：平日午前9時から午後5時まで〕

☎0198-37-1177 FAX.0198-37-1192

【修理・点検に関するお問い合わせは…】

下記最寄りのサンポット支店・営業所・サンポットエンジニアリング株式会社にご連絡ください。

札幌支店	〒065-0042	札幌市東区本町2条10丁目1番25号	☎011-785-1211	FAX.011-782-8262
釧路営業所	〒085-0051	釧路市光陽町8番1号	☎0154-22-5821	FAX.0154-32-2289
帯広営業所	〒080-0023	帯広市西13条南11丁目9番地	☎0155-22-1335	FAX.0155-28-2266
旭川営業所	〒070-8002	旭川市神楽2条9丁目3番10号	☎0166-74-4585	FAX.0166-74-3973
函館営業所	〒041-0851	函館市本通4丁目17番25号	☎0138-53-2583	FAX.0138-33-2180

青森営業所	〒030-0131	青森市問屋町2丁目18番18号	☎017-738-4141	FAX.017-738-5354
秋田営業所	〒010-0914	秋田市保戸野千代田町15番17号	☎018-824-3421	FAX.018-824-3423
岩手営業所	〒025-0301	花巻市北湯口第2地割1番地26	☎0198-37-1138	FAX.0198-37-1188
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町4丁目2番40号	☎022-236-3444	FAX.022-238-9416
郡山営業所	〒963-8047	郡山市富田東四丁目118番地	☎024-953-8091	FAX.024-953-8092

首都圏営業所	〒352-0001	新座市東北2丁目24番3号	☎048-471-8420	FAX.048-470-1141
信越営業所	〒381-0031	長野市大字西尾張部1114番地5	☎026-252-6161	FAX.026-252-6162
富山営業所	〒939-8212	富山市掛尾町479番地4	☎076-420-2677	FAX.076-420-2238
大阪営業所	〒564-0053	吹田市江の木町18番27号	☎06-6337-3211	FAX.06-6337-3212

サンポットエンジニアリング株式会社

サービス部	〒065-0042	札幌市東区本町2条10丁目1番25号	☎011-785-1201	FAX.011-780-2338
青森サービスセンター	〒030-0131	青森市問屋町2丁目18番18号	☎017-738-4414	FAX.017-738-4415

サンポットホームページ <http://www.sunpot.co.jp/>

事業所名・住所・電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ご購入(据付)年月日	年	月	日
ご購入店名			
	TEL.		

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。